カプリコン 3

真鍋譲治



カプリコン ③

真鍋譲治

新書館

〈ストーリー〉
二つの星を支配しようとするゾルバの計画は着々と進んでいた。カプリコン＝地球をめざし次々と飛び立っていくスラフレーゼの大艦隊。無限アンカー発動を目前にして、モーナたちは軍司令部に侵入するが、そこでモーナが見たものは……。真鍋譲治のSF巨篇、待望の第三巻！





このラベルはきれいにはがせます

ISBN4-403-61203-2 C0079 P490E

新書館 定価490円
(本体476円)

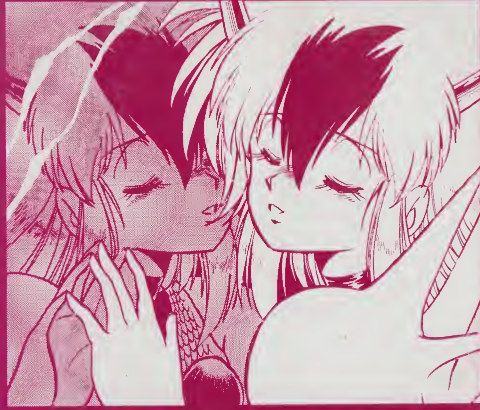
WINGS COMICS
SHINSHOKAN

■真鍋譲治のコミックス
カプリコン〈全5巻〉
ドーラ
怒濤！ ジャムカの大冒険①〜③
定価各490円(税込)

カプリコン③
1989年9月10日＊初版発行©
1992年3月15日＊第5刷
著　者＊真鍋譲治
発行所＊株式会社新書館
〒112 東京都文京区千石1-21-7
☎(03)3946-5331　振替・東京4-53723
(営業)〒174 東京都板橋区坂下1-22-14
☎(03)5970-3840　FAX(03)5970-3847
印　刷＊図書印刷
ISBN4-403-61203-2　定価490円(本体476円)
Printed in Japan

太古には二重惑星、今は別々の次元にあるカプリコン＝地球とスラフレーゼ。この二つの星を支配する野望に燃えるゾルバは、国王の死に乗じてスラフレーゼの権力を完全に握った。そして、計画の鍵となる無限アンカーを作動させたのだ。アンカーの防人、ヤッピ族の少女モーナと、地球人のタマキとタクは、壊滅的な天変地異をもたらす無限アンカー発動を阻止しようとしたが……。
巨大なスケール、力強いストーリー展開、明るいキャラクターでますます人気の「カプリコン」、第三巻登場！







カプリコン③

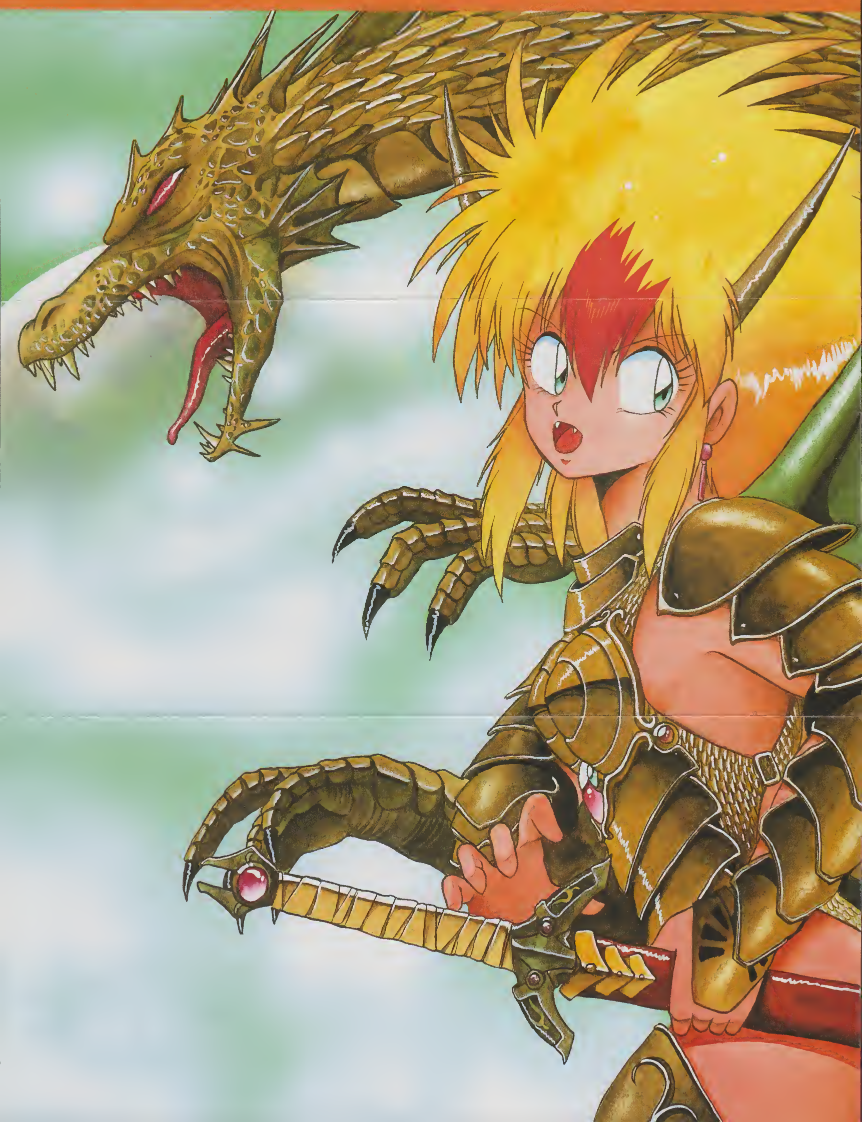
真鍋譲治

新書館



CAPRICORN

by JOHJI MANABE



カプリコン③

真鍋譲治

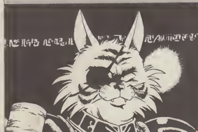
■おもな登場人物■



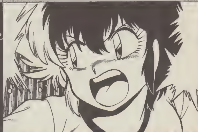
タク
地球から、ある日突然やってきた中学二年生の少年。わりとまじめな性格。



モーナ
ヤッピ族の数少ない生き残り。ガレッティ博士に育てられた。



ゾルバ
スラフレーゼの実権を握っている国防大臣。カプリコン征服を狙っている。



タマキ
タクの姉で、高校一年生。プロレス同好会に所属するパワフルねーちゃんだ。



ジル
ガレッティ博士の孫で、モーナとはよい遊び友だちだ。なぜか関西弁を話す！

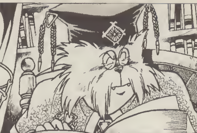


モゲゲ
ガレッティ家の家族なのかペットなのか、存在自体が謎の鳥。ちょっと太め。

■おもな登場人物■



バルター
スラフレーゼ治安軍総司令官。ゾルバの腹心で古くからの同志。



ヨットル博士
酒で身をもちくずした科学者。ガレッティ博士の親友で、その遺志を継ぐ。



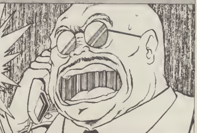
ノン
気立てのやさしい、ジルの姉。やんちゃなモーナたちの世話でいそがしい……。



バーラム
隻眼の女盗賊。モーナがヤッピ族と聞いて、その目を輝かせるが……。



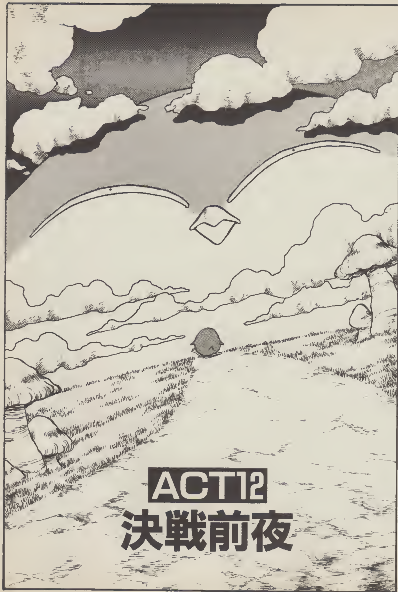
ボボ＆ドッペ
バーラム一家の子分。バーラムの手足となって働くが……ちょっとドジな二人組。



大佐
謎の私設軍S・M・Sに所属。スラフレーゼの存在に危機感を抱いている……。

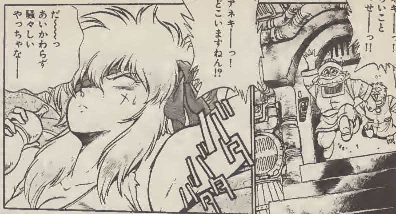


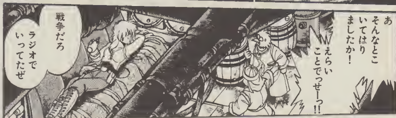
ACT12　決戦前夜————5
ACT13　カメラード————37
ACT14　エスケープ！ エスケープ！————77
ACT15　ブラック・ドラゴン————109
ACT16　運命の日————141
ACT17　D-DAY————173

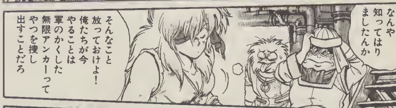

ACT12
決戦前夜



最高司令部より市民の皆様にご報告いたします
本日より治安維持のため全土に戒厳令が施行されます！
夜七時以降の夜間外出を禁じ軍発行の身分証明書の携帯が義務づけられます！
予備役軍人には動員令が発動されています 二十四時間以内に所属する軍管区に出頭のこと!!
なお軍は郷土防衛隊に志願する有志をつのっています！
第三班はトラックに乗れ！
四十七区の者は連絡艇がまもなく来るのでその場で待機！
各自受け取った装備を点検しよく管理するよう！


アネキ――っ！
えらいこと
でっせ――っ!!
アネキ――っ！
どこいますねん!?
だ〜〜っ
あいかわらず
騒々しい
やっちゃな――


あ
そんなとこ
いてはり
ましたか！
えらい
ことでっせ―っ!!
戦争だろ
ラジオで
いってたぜ


なんや
知ってはり
ましたんか
そんなこと
放っておけよ！
俺たちが今
やることは
軍のかくした
無限アンカーって
やつを捜し
出すことだろ


せやけど
何もこんな
時に……
!!
おうっ
おまえら
今から
軍に志願して
こい！
え〜〜っ!!
情報を
集めるんだよ





ゴゴゴゴゴゴゴ

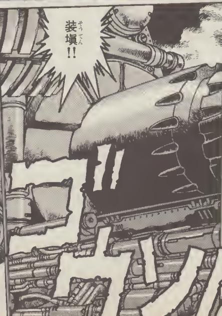


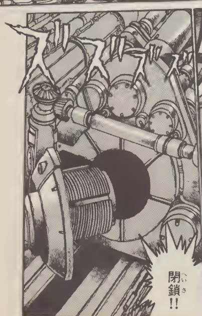
左一番の
圧力を下げろ！
うんとしぼれ!!

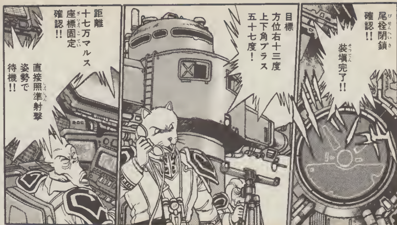
四号
惑星間
弾道弾
装塡準備!!

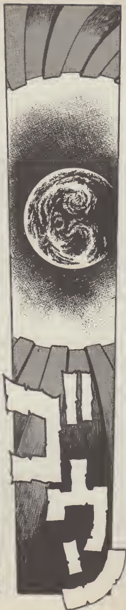
ゴウン
ゴウン
ゴウン

ゴゴゴゴ






尾栓閉鎖確認!!
装填完了!!
目標方位右十三度上下角プラス五十七度!
距離十七万マルス座標固定確認!!
直接照準射撃姿勢で待機!!



第十七機甲歩兵師団はただちに乗艦せよ！

空間重機甲軍団はまもなく発進する急げ！

第二梯団も所用作戦区に移動中！

現在動員状態は第二・第三カテゴリーの予備師団までいっています！

第一梯団はすでに三派に分れ戦闘態勢で待機中！

*D-DAY＝無限アンカー始動時

*D-DAYより十二時間でカプリコンは次元の壁を超え我が世界に入ります

大気の安定……残留エネルギーの拡散がさらに十二時間後

D-DAYより三十六時間後第一梯団が発進

第一梯団はカイテル将軍指揮下の第三重機甲軍団が主力

戦艦三十六
巡洋艦五十二
その他
補助艦九十三

カプリコン全土にわたり異文明軍事力を粉砕します

なお第一梯団発進十二時間前にヤッピ族による特務部隊が第一撃を加えます

この時点ではまだ戦艦が航行できる状態ではありませんので……

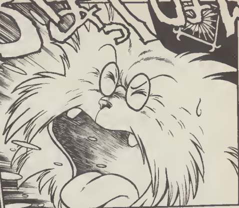
第二梯団はさらに七十二時間後に発進！

その地上兵力でカプリコンを完全制圧し安全を確保します

国王陛下が
なくなった
というのは
本当か？
ああ
看守が
話してた



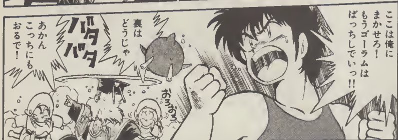


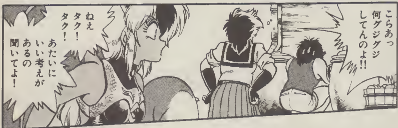


ぶぇっくしょい!!
はて だれか うわさしてん のかな
どーせ 悪い うわさでしょ

バカいえ!
ま それはさておき 国防省ちゅう ところは まさにゾルバの 居城でな
でかいの なんの 王宮の 五倍は あるな
博士 絵 ヘタだな
じゃ 中の 構造も ぜんぜん わかって へんのけ?

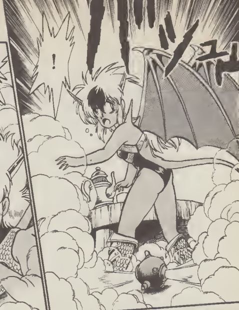
軍関係の 施設だけで 百を超えとる からな〜〜く
だーっ それじゃ 無限アンカーが どこにあるか 見当もつかねーのかよ
大丈夫よ ゴーラムで かたっぱしから 壊していきゃ いいもん!
バカモン 街のど真中で ドンパチ する気か!!
ちぇ〜〜っ!!
じゃあ どーすりゃ いいんだよ

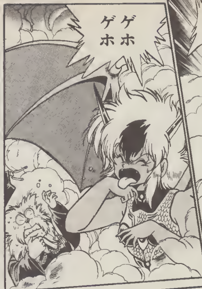

ねえ
みんな――
外に兵隊さんが
たくさん
いるけど
どーしたの
かしらね
え？
わっ
ほんとうだ
!!
こら　いかん
わしらを逮捕
しにきたのかも
しれん！

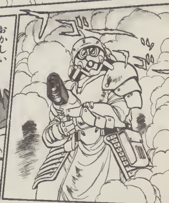

ここは俺に
まかせろ！
もうゴーラムは
ばっちしでいっ!!
バタ
バタ
裏は
どうじゃ
あかん
こっちにも
おるで！
おろおろ


こらあっ
何グジグジ
してんのよ!!
ねえ
タク！
タク！
あたいに
いい考えが
あるの
聞いてよ！

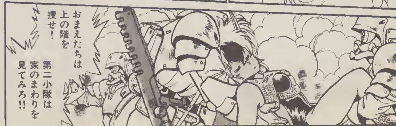

ガシャン!!

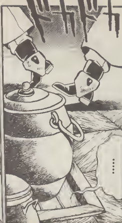

!

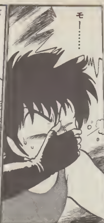

ゲホ
ゲホ

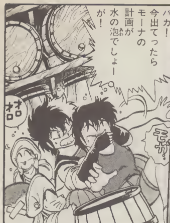


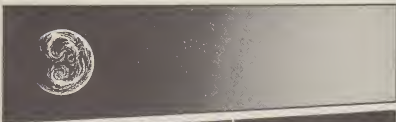

おかしい
ヤッピ族と
博士しか
いないぞ!!
そこらに
かくれて
るんだろ
捜せ!!


おまえたちは
上の階を
捜せ!
第二小隊は
家のまわりを
見てみろ!!


ドカドカ
……


モー……

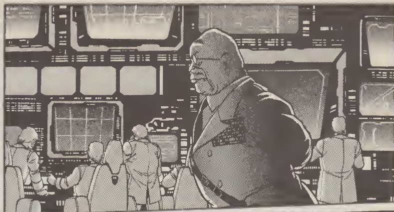

バカ! 今出てったら モーナの 計画が 水の泡でしょーが!
モガ!
オロオロ

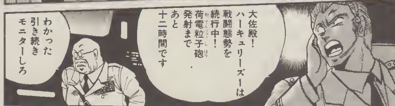




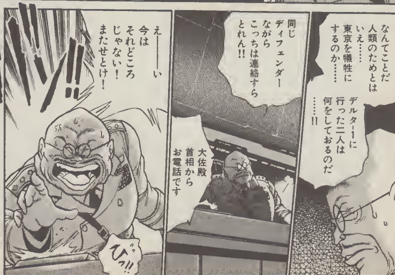




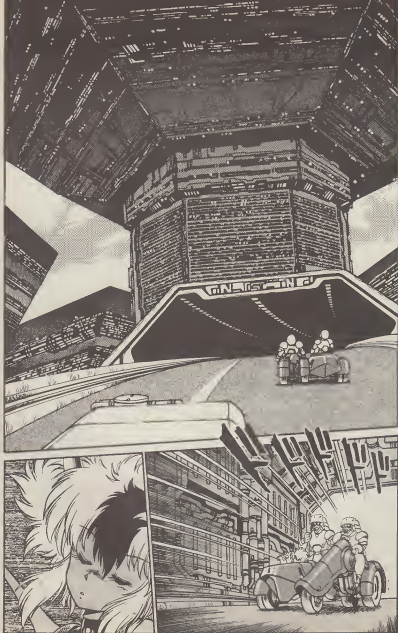




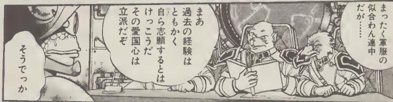
大佐殿！
ハーキュリーズーは
戦闘態勢を
続行中！
荷電粒子砲
発射まで
あと
十二時間です
わかった
引き続き
モニターしろ



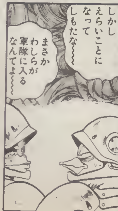
なんてことだ
人類のためとは
いえ……
東京を犠牲に
するのか……
デルター1に
行った二人は
何をしておるのだ
……!!
同じ
ディフェンダー
ながら
こっちは連絡すら
とれん!!
大佐殿
首相から
お電話です
え――――い
今は
それどころ
じゃない！
またせとけ！
ひっ!!

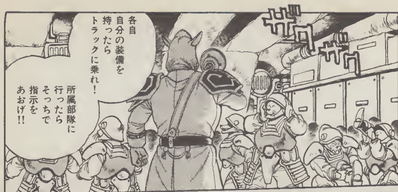

ドドドドド

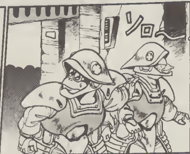


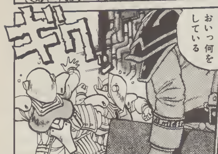
ボボに
ドッペか……
住所・職業ともに
不定……
特技・無芸大食か…

まったく軍服の
似合わん連中
だが……
まあ
過去の経験は
ともかく
自ら志願するとは
けっこうだ
その愛国心は
立派だぞ
そうでっか

ところで
その～～
訓練はやっぱ
しんどいん
でっか？
わしら体力には
あんまし自信が
のうて……

心配するな
志願といっても
正規兵を補佐する
郷土防衛隊だ
初歩的訓練で
三日ほどで
すむ
ほっ

しかし
えらいことに
なって
しもたな～～
まさか
わしらが
軍隊に入る
なんてよ～～


ザク ザク
各自
自分の装備を
持ったら
トラックに乗れ!
所属部隊に
行ったら
そっちで
指示を
あおげ!!


ソロ〜…

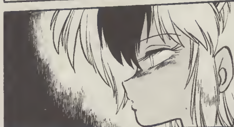

ギクッ
おいっ何を
している

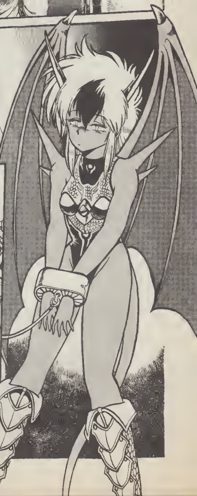

あ……
いえ
そのブーツの
サイズが小さくて
替えてもらおうと
……
ワ…ワイも
そーですねん


なら急げ
補給所が
しまるぞ
はっどうも
ご親切に


ピュー








どうだ？
ご安心ください
深々度睡眠状態です
よろしい……
貴重なヤッピ族の女だ
使い道はある！

我々が保存している遺伝子は特殊強化作用を与えたため

その結果一代限りの劣性遺伝子になってしまいました

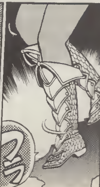
ここらでこの娘の純粋なヤッピ族の血を使うことによってさらに彼らの増産が可能になります

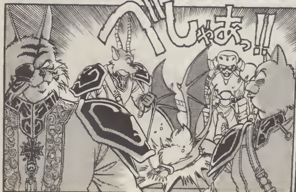
優秀なヤッピ族の血はいくらあっても足りることはない

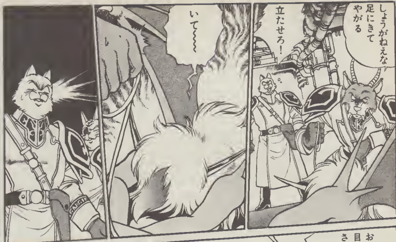
カプリコン占領後ただちに物資・労働力を送り込む

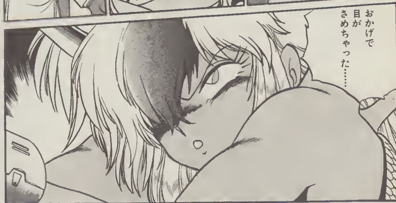
新領土として開発するのだ

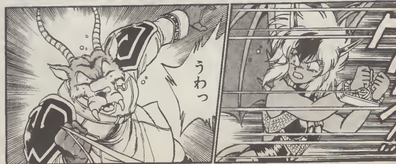
そのためにもヤッピ族は非常に有効的な働きをしてくれるだろうて





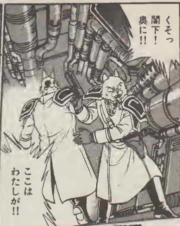

しょうがねえな
足にきて
やがる
立たせろ！
いて〜〜〜

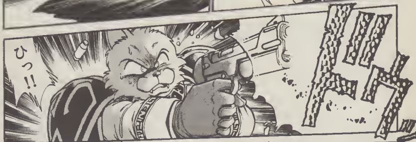

おかげで
目が
さめちゃった……

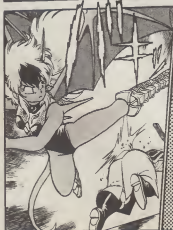

うわっ

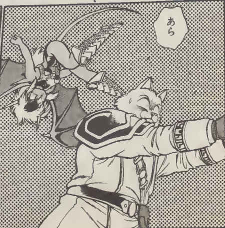
ドガッ
ゾルバ!!
ヤッピ族の宝……
無限アンカーを……
かえせーっ!!

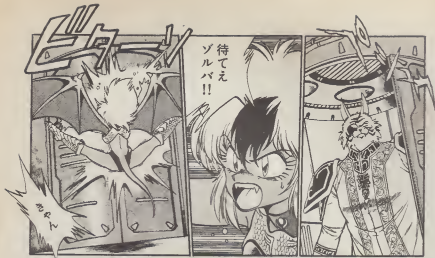


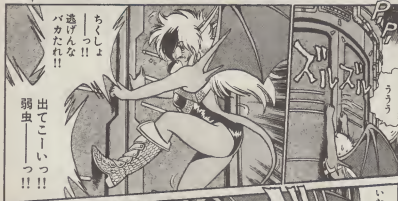

くそっ
閣下！奥に!!
ここはわたしが!!

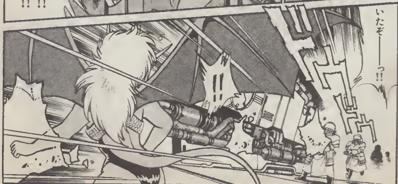

ドドドド
ひっ!!

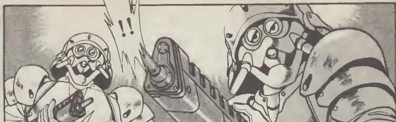


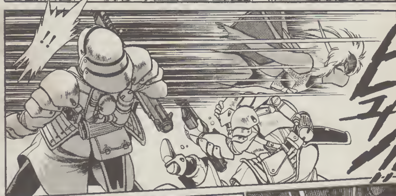

あら

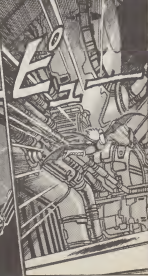

待てえ
ゾルバ!!
ビタ――ン!!
きゃん


PiPi
ズルズル
ううう
ちくしょ――っ!!
逃げんな
バカたれ!!
出てこーいっ!!
弱虫――っ!!

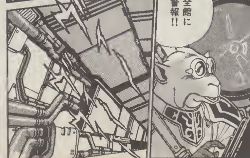

いたぞ――っ!!
!!


!!


!!
ビュッ!!!


ピューー


くそっ 逃げたぞ!!
保安司令室! ヤッピ族が一人逃走! 方角は……


全館に警報!!

おおっ
警報じゃ！

な
わしの言った
とおりじゃろ

ここを脱出したら
全員わしに
一杯おごれよ

本当に
大丈夫
なのか……

がっはっはっ
わしの
立てた
作戦じゃぞ
ええ!?

だからこそ
一抹の不安が
……

ザッ

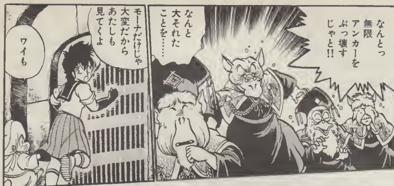
!!

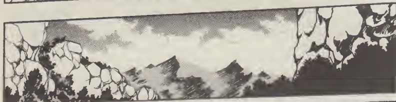
ボコッ

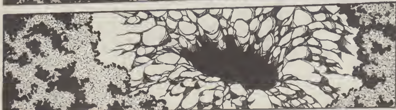
グワン
グワン

はよ
出んか!!

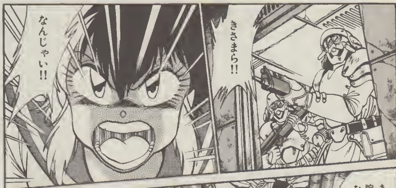
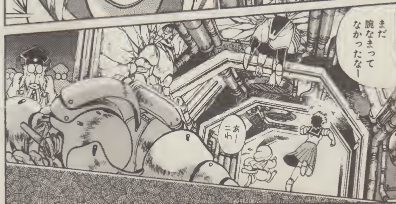
さあ！お偉いさんたち急いで!!
三十分も歩けば町に出るで!!
し……しかしよくこんなトンネルを…
わしじゃわしじゃ
ボコッ
わしも以前ここの食料倉庫に盗みに入ったからのう
あーっびっくりした…
なにせ古い建物だから地下はもろいで
こいつはわしの本を買ってた古本屋の主人じゃ
トンネルの入口はこいつの店の下じゃぞ
やっぱりヨットルおまえは学術書を!!
わははは この日のための人脈作りじゃ
うそつけ!!
おい……こいつら脱走する気だ
警備兵!!
タクはどうしてる？
モーナが無限アンカー見つけたらすぐ壊せるようこっちに向かってるわ

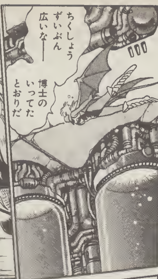

なんとっ
無限
アンカーを
ぶっ壊す
じゃと!!
なんと
大それた
ことを……
モーナだけじゃ
大変だから
あたしも
見てくよ
ワイも

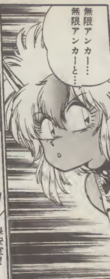


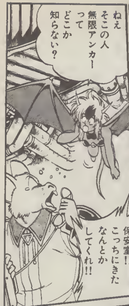



エッホ
エッホ

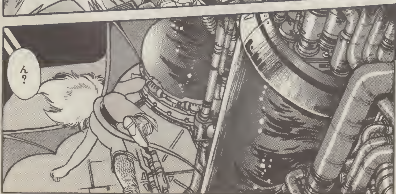

だーーっ なんで俺は 穴掘り なんだよ!!
主人公が モグラ役とは 情けね〜〜〜ェ
いや…… きっと ACT13では 俺の活躍が あるはずだ!!
こっちで いいん だっけ?
この苦労が 伏線に 違いない! そうに きまってるって!!

きさまら!!
なんじゃい!!

まだ 腕なまって なかったなー
あー こわ


ちくしょう
ずいぶん
広いな——
博士の
いってた
とおりだ


無限アンカー…
無限アンカーと…

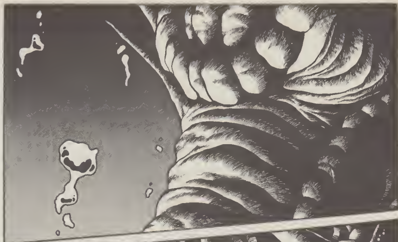
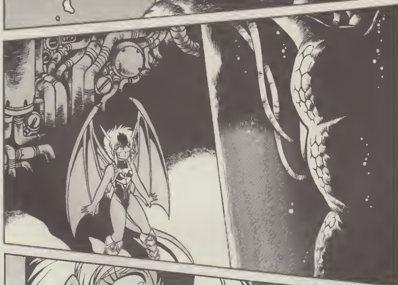
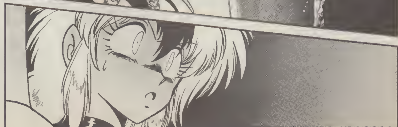

ねえ
そこの人
無限アンカー
って
どこか
知らない？
保安室!!
こっちにきた
なんとか
してくれ!!


なんだ？
新たな侵入者が
二人と一匹
出現したぞ!!
警備兵は
何をしている
武器の使用は
無制限だ!!
早く始末しろ!!


ん？

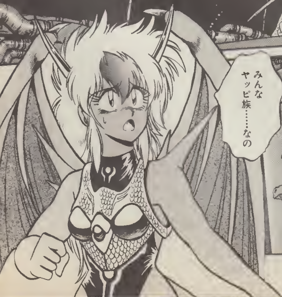


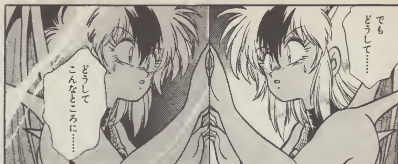

ACT13
カメラード

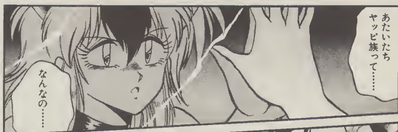




これ……





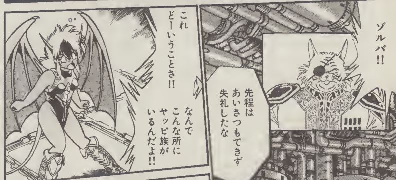

でもどうして……
どうしてこんなところに……


あたいたちヤッピ族って……
なんなの……

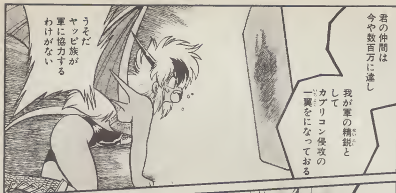
ふふ……

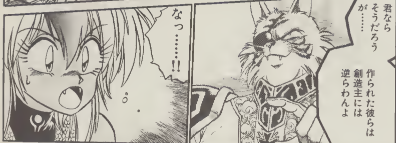

けど……
なんだか
すごく
なつかしい気分だなぁ…

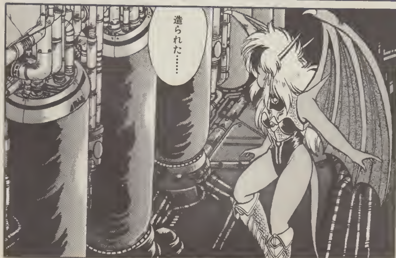

どうかね
自分の仲間に
会えた感想は？
ええ
ヤッピ族の
お嬢さん


ゾルバ!!
先程は
あいさつもできず
失礼したな
これ
どーいうことさ!!
なんで
こんな所に
ヤッピ族が
いるんだよ!!


おこる前に
感謝して
ほしいな
我々は
君の仲間の
種の保存を
助け絶滅から
守ったのだぞ
なにいっ!!


君の仲間は
今や数百万に達し
我が軍の精鋭と
して
カプリコン侵攻の
一翼をになっておる
うそだ
ヤッピ族が
軍に協力する
わけがない


君なら
そうだろう
が……
作られた彼らは
創造主には
逆らわんよ
なっ……!!


造られた……


そう
君なんかより
はるかに
強力……
やめろよーっ!!





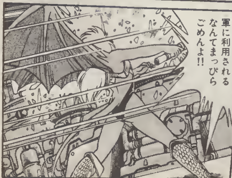


だあぁっ!!

ドカァッ


ふふふ
なんのつもりだ?


もうこれ以上
あんたのために
ヤッピ族を
生まれさせない!!


軍に利用される
なんてまっぴら
ごめんよ!!

どこが
違うのだ？

無限アンカーを
守っていたヤッピ族も
所詮は時の支配者の
傭兵に過ぎん

おまえたちは
常に戦うため
だけに
利用されるのだ

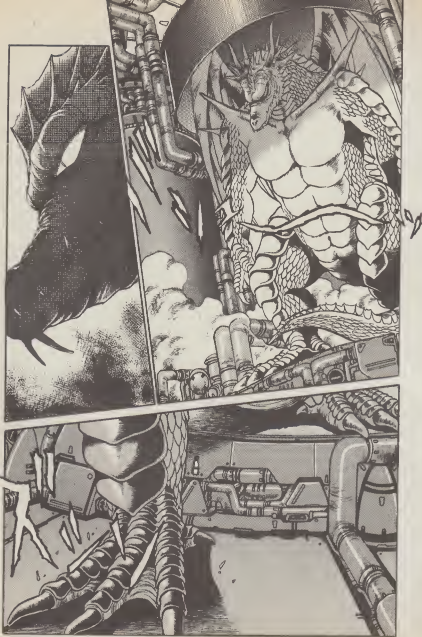
おまえたちも
……

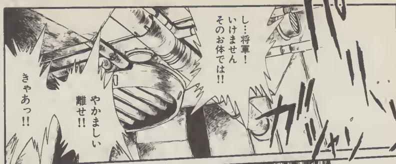
ガ
ギャ

はあ
はあ

さて
話も長く
なった……

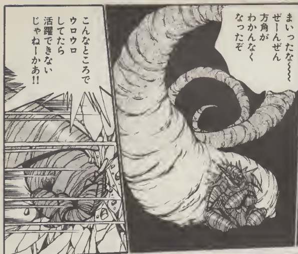
勇猛な
種族同士だ
心ゆくまで
再会を喜び
あうんだな




パリ…ン
ガシャン
し…将軍！
いけません
そのお体では!!
やかましい
離せ!!
きゃあっ!!

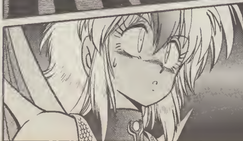

体はもう
どうもねえ!!
かまうな!!
何を
おっしゃい
ますか!!
絶対安静が
必要です!!
俺をこんな目に
あわせた小娘が
きてるんだぜ！
じっとして
られるか!!
君！
鎮静剤を!!


どきやがれ!!
どへっ!!

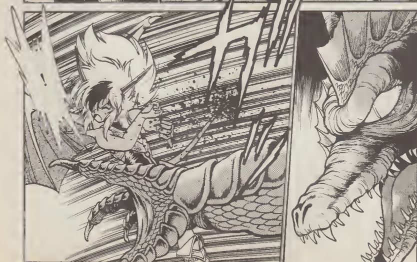

まいったな~~~
ぜーんぜん
方角が
わかんなく
なったぞ
こんなところで
ウロウロ
してたら
活躍できない
じゃねーかあ!!

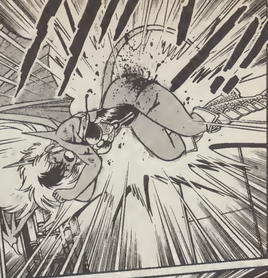

ガ
ラ
ガ
ラ
あらっ……


これか……!?

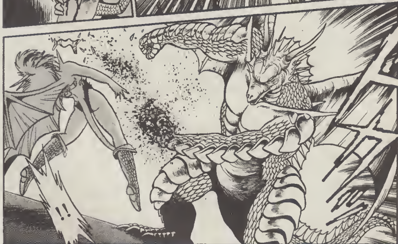

まって

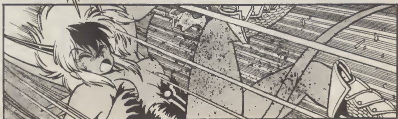
あ…あたい あんたと同じ ヤッピ族だよ…… わかる?
あたいたちが 戦う 理由なんか ないって!
あたい モーナってんの あなたは? 名前 あるんでしょ





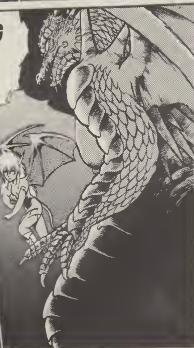

やめろよ…!
あたい
あんたとは
戦いたくない!!


!!




つぅ……

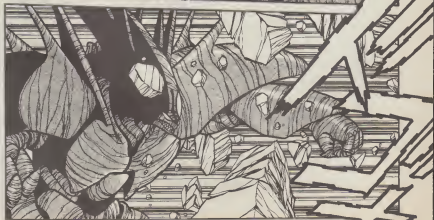
はぁ
はぁ

殺される!!

GRR…

いや……

タク
助けて!!


タク…!!
助けて!!
モーナ!!



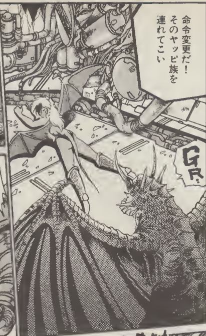
なんだ!?

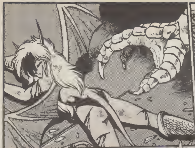
お…おもい。

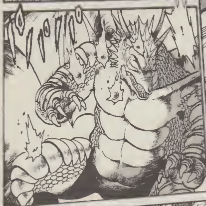

非常警戒!!
非常警戒!!
第十七外周連絡通路に侵入者あり!!


ヤッピ族の巨人か!?

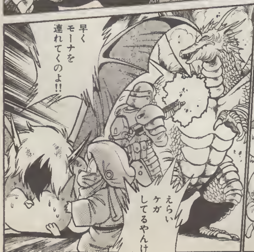

地下から侵入してくるとは……うかつでした!!
中で暴れられると手がつけられません!!


命令変更だ!
そのヤッピ族を
連れてこい
GR

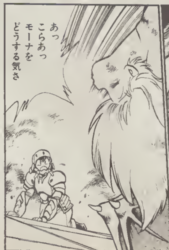





モーナ!!


早く
モーナを
連れてくのよ!!
えらい
ケガ
してるやんけ!!


ゴガッ!!

DOGOM
きゃあっ!!

あっ こらあっ モーナをどうする気さ

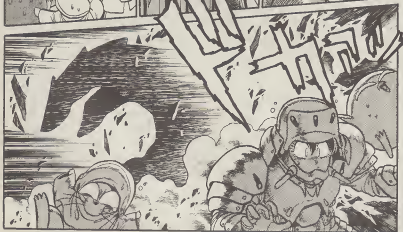


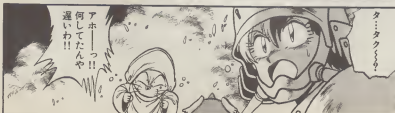
!

ゴーーッ

ちくしょう
あけろーー!!
モーナ!!

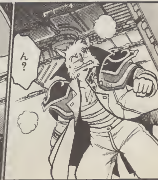
モゲーー!
モゲーー!

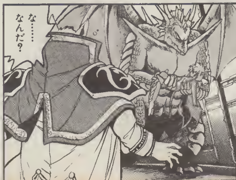




モーナがドラゴンのバケモンに連れてかれたーっ!?
どこに!?
わかんないよ! けど早く助けなきゃ ひどいケガしてる

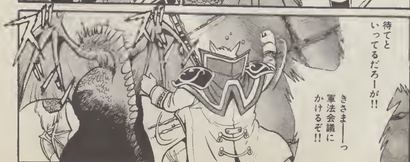




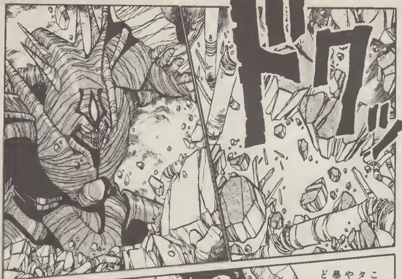


ズン
ズン
ズン
な……あの娘は!!





現在巨人は第三層から第四層に移動中！
警備兵の小火器ではどうにもなりません
よしあの小娘を無限アンカーの所まで連れて行け！
しかしそれではあの巨人を誘いこむことになりませんか！
かまわん！一気にかたをつけてやるわ
しかし連中の目当ては無限アンカーです！
万が一破壊でもされたら…
心配するなやつらがどうのこうのできる代物ではない
しかし気になるな
あの小娘以外に巨人を操れる者がいるのか？
あの特殊なコクピットはヤッピ族以外受けつけないことは過去の戦いで確認済みだ……
我々が未確認のヤッピ族がいるのか……


ドドクン!!


こらあっ
タク!
やみくもに
暴れまわって
どーすんだよ!!
けど!!
そや
そや
モーナまで
巻きこんで
まうやんけ!


ちくしょう
さっき
モーナの
声がしたのに……
落ちつけ……
気を静めたら
聞こえるはず……

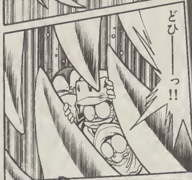


落ちつけ……
タク……
モーナ!!
下だ!!



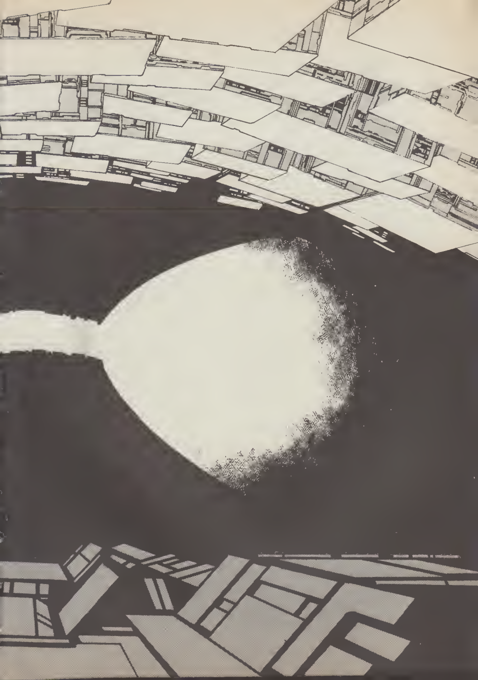
あら

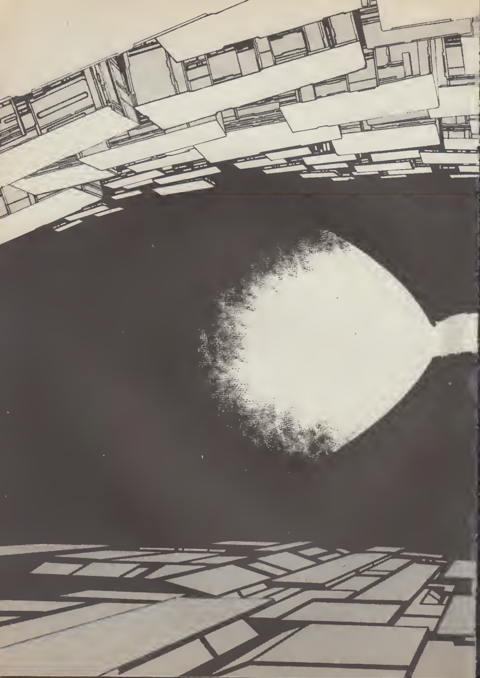

うわっ
うわっ
うわ――っ!!


どひ―――っ!!


ここは……



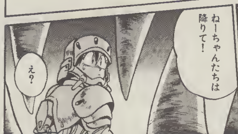





なんだ……
こいつは……
ねえ……
まさか……
これが無限
アンカー?
さ…さあ
どうなんやろ……
モーナやったら
知っとる
やろうけど


モーナ!!

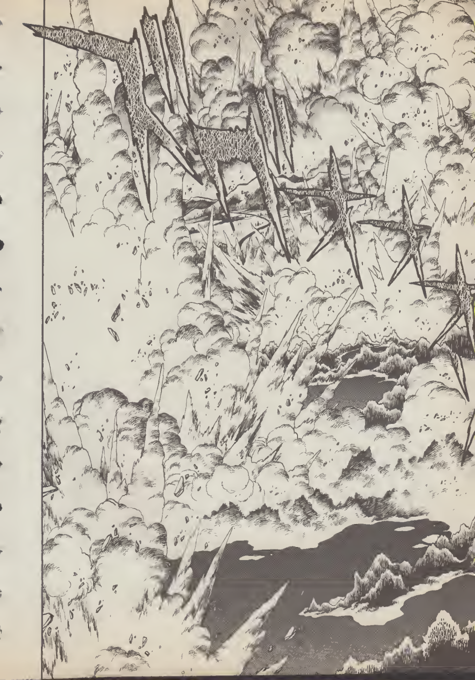

モーナだ!!
無事なんやろな!
モゲーーっ!!


ねーちゃんたちは
降りて!
え?

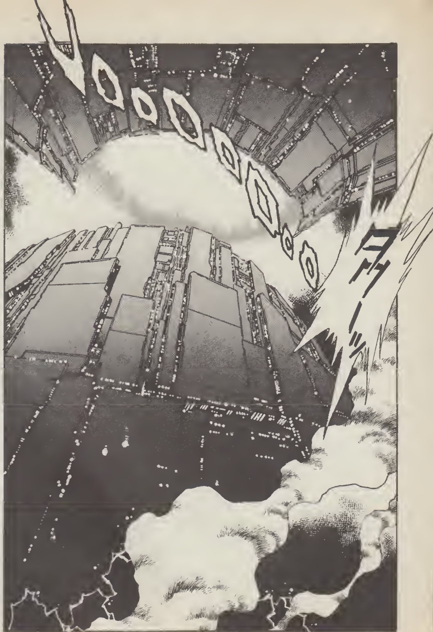

降りたら
なるべく
離れてて
くれよ!
まきぞえ
食っちまうぞ!

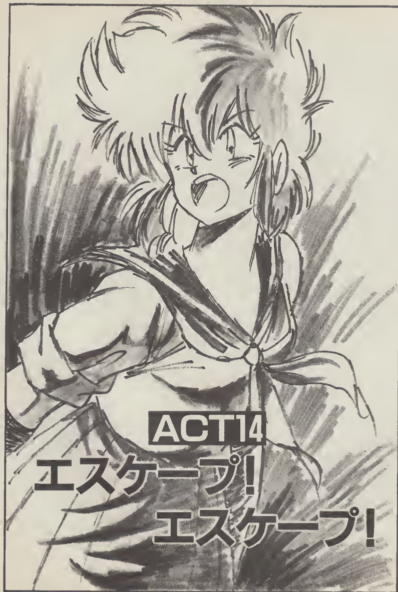

当然
降りるわよ!
あんたと一緒じゃ
命がいくつあっても
足りないもんね
人のこと
いえまへんな――

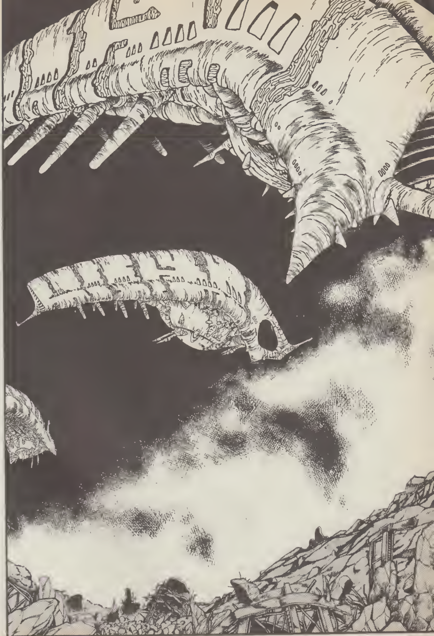
ズーン
ズーン
ズン
モーナ!!
モーナ!!
タク!!



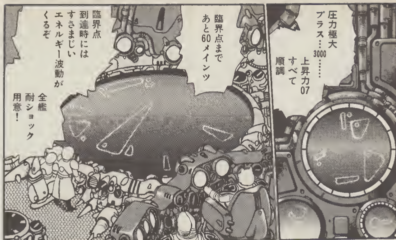





ACT14
エスケープ!
エスケープ!



無限アンカーシステム能力72%を維持
こっちは本星のとは違って我々が手を加えていない慎重に続けろ
どうだ司令部との通信は回復したか?
いいえ司令部は通信波の発信を停止しています
この大づめにきてなんのための沈黙だ!
何か国防省内でトラブルが発生したのでは…
艦長通信が回復しました!作業を続行すると暗号通信が……
原因はなんだったんだ?
エネルギー臨界点まであと470メインツ
それについては何も……
妙な話だな



45…44…43…

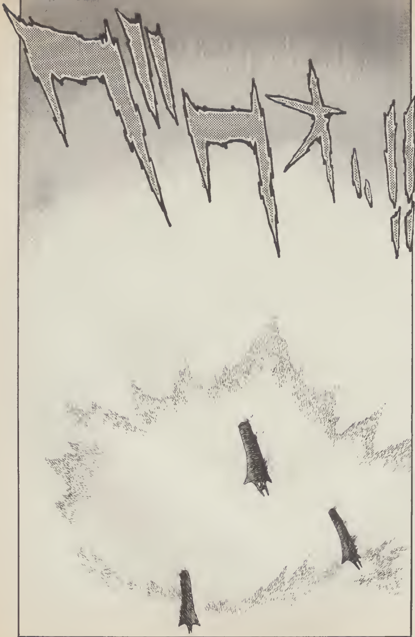
21…20…19…

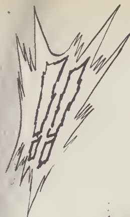
5…4……

3…2……

1……

ズズズズズズ








損害を報告せよ！
ズヴゥゥゥン
動力回復
重力バランスも
正常に
もどりました！


無限アンカー
どうだ！
正常です
全システム稼動率
200％！


よし
これでカプリコンは
我々の手に入ったのも
同然!!
司令部へ
報告！
無限アンカー
臨界点に
到達！
シャンペンを
ぬけとな！

本日午後三時三分
侵入者の飛行隊の
真下で
異様な光とともに
大爆発がありました

自衛隊は
元練馬区
江古田駅を
中心に二重・三重の
警戒網を
しいており……

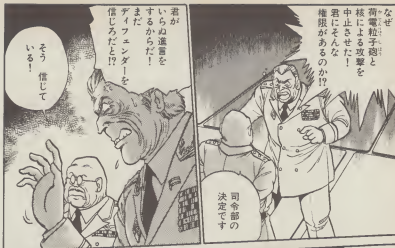
侵入者による
何かの破壊作業と
思われますが
詳細は不明です

こちら
東京駅です
都内を脱出する
人々でここは……

なお
政府は在日
アメリカ軍との
協議のすえ……

同志大佐!

これが
君の
望んでいた
結果かね!

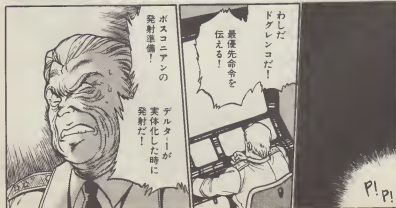

なぜ
荷電粒子砲と
核による攻撃を
中止させた!
君にそんな
権限があるのか!?
司令部の
決定です
君が
いらぬ進言を
するからだ!
まだ
ディフェンダーを
信じろだと!?
そう 信じて
いる!

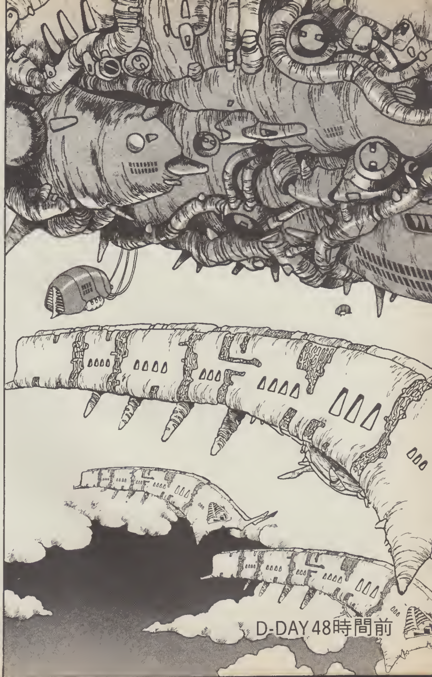

わたしも
ディフェンダー
ですからな
あなたもです
同志ドグレンコ
中将!
とにかく
ただちに
攻撃だ!
これは
命令だ!!
いけません!
ムダなことです
かすり傷も
負わせられ
ないでしょう!

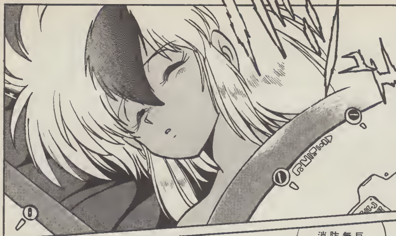

きさま
大佐の分際で…!!
それは
自国での階級!
ここではあなたは
わたしの指揮下に
入ります
ぬぬぬ…!!

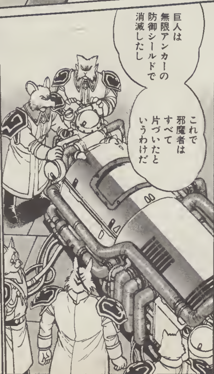

もういい
頼まん！
大佐！
かまわん
世界に冠たる
軍事大国に
とっては
耐えられんのだろう…
どうにも手が
うてないのが
わかっていてもな…


たった二人……
たった二人の
ディフェンダーに
わしは
かける！


P! P!
わしだ
ドグレンコだ！
最優先命令を
伝える！
ボスコニアンの
発射準備！
デルタ-1が
実体化した時に
発射だ！


D-DAY48時間前

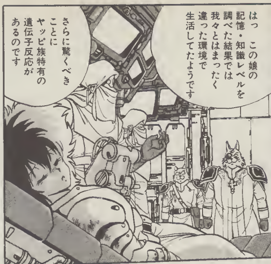



巨人は無限アンカーの防御シールドで消滅したし
これで邪魔者はすべて片づいたというわけだ


ただあの巨人を操っていた者の正体がわからずじまいだが…


閣下！それについても手がかりがあります
なに？


カプリコンの
人間だと!?


はっ この娘の
記憶・知識レベルを
調べた結果では
我々とはまったく
違った環境で
生活してたようです
さらに驚くべき
ことに
ヤッピ族特有の
遺伝子反応が
あるのです


どーいうことだ
それは!!

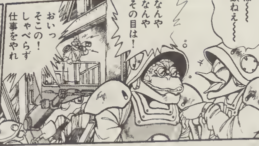

つまり
カプリコンにも
無限アンカーを
守るヤッピ族が
いたという
ことです
ほとんど
カプリコン人に
同化していますが
……


我々の計画を
阻止するため
スラフレーゼに
送りこまれたと
いうのか!
しかも
たった二人が…


しかし
それもすべて
徒労に終わった
わけだ
もういい
そいつは
残りのチビ二人と
ともに処分しろ!
必要はない!
はっ


ガゴン
ガゴン
ダダダ
ダダダ


なんやねん
軍に入って
最初の仕事が
これかいな
かなわんで
本来
わいは
体より頭を
使って仕事する
タイプやのになー

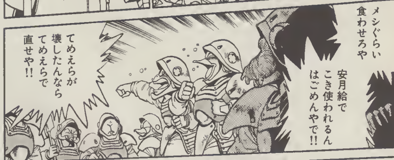

ほ〜〜〜
頭ねえ〜〜〜
なんや
なんや
その目は！
おいっ
そこの！
しゃべらず
仕事をやれ

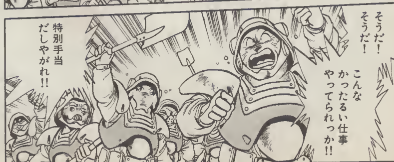

ムカっ


なんや
えらそーに
！
ほんじゃまあ
そろそろ時間や
さかい
始めっか!!


ガシャン!!


あーあ
やってられんで
こんな仕事!
ワイら
穴掘りしとうて
軍隊に入ったんとちゃうんやでー!
な…
なにい!?


メシぐらい
食わせろや
安月給で
こき使われるん
はごめんやで!!
てめえらが
壊したんなら
てめえらで
直せや!!

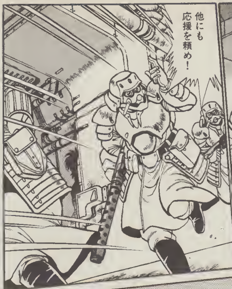

そうだ!
そうだ!
こんな
かったるい仕事
やってられっか!!
特別手当
だしやがれ!!

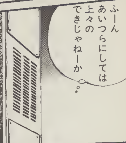
責任者でてこーい!!
ストライキだ!ストライキだ!!
やかましい!作業を続けろ!!
警備兵!!

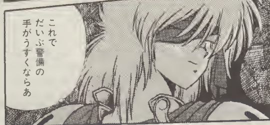


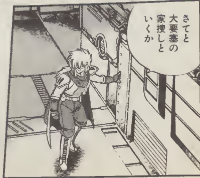


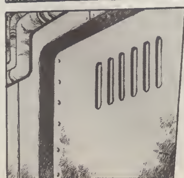

おいっ
外周通路の
修復現場で
騒ぎが
起きている
きてくれ!!

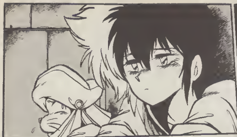
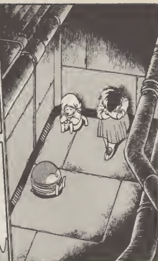
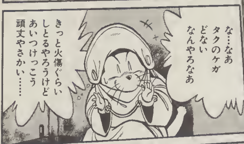
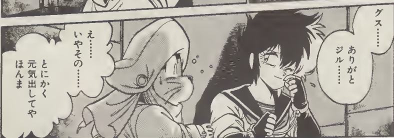
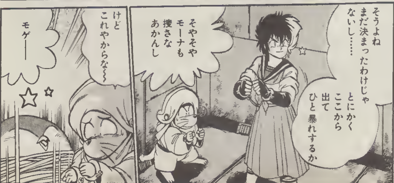

他にも
応援を頼め！


ふーん
あいつらにしては
上々の
できじゃねーか

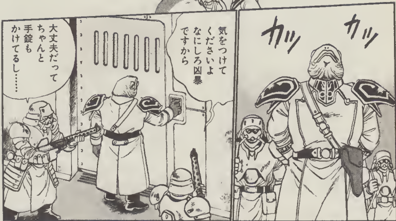

これで
だいぶ警備の
手がうすくならあ

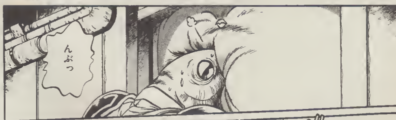

さてと
大要塞の
家捜しと
いくか



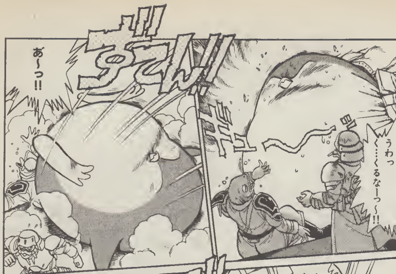



な…なあ
タクのケガ
どない
なんやろなあ
きっと火傷ぐらい
しとるやろうけど
あいつけっこう
頑丈やさかい……

グス……
ありがと
ジル……
え……
いやその……
とにかく
元気出してや
ほんま

そうよね
まだ決まったわけじゃ
ないし……
とにかく
ここから
出て
ひと暴れするか
そやそや
モーナも
捜さな
あかんし
けど
これやからな〜〜
モゲーー

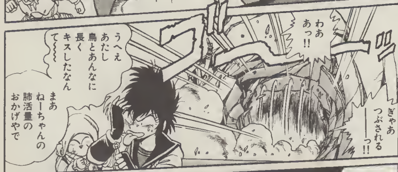
え？
ふくらまして
くれ？


カッ
カッ
気をつけて
くださいよ
なにしろ凶暴
ですから
大丈夫だって
ちゃんと
手錠も
かけてるし……


んぶっ


ボヨヨ〜ッ
わ〜〜〜！
な…
なんだ
これは……

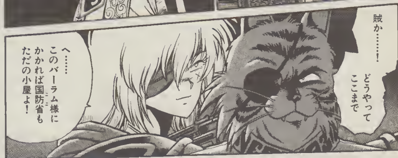

ずでん!!
あ〜っ!!
ギュ〜〜〜
うわっ
く…くるなーっ〜!!

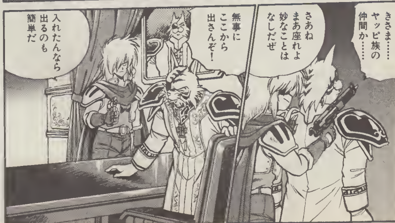

ゴ!!
わぁ
あっ!!
ぎゃあ
つぶされる
――っ!!
うへえ
あたし
鳥とあんなに
長く
キスしたなん
て〜〜〜
まあ
ねーちゃんの
肺活量の
おかげやで


閣下
少々お休みに
なられたほう
が……
無限アンカー
発動まで
まだ間が
ありますし……
そうだな……
では
あとは
まかせるぞ
ゲイル


ギィ…


声を立てるな！


賊か……！
どうやってここまで
へ……このバーラム様にかかれば国防省もただの小屋よ！


きさま……ヤッピ族の仲間か……
さあねまあ座れよ妙なことはなしだぜ
無事にここから出さんぞ！
入れたんなら出るのも簡単だ

俺はあんたに聞きたいことがあってね……

無限アンカーのこととかさ

きさまのような小悪党がそんなこと知ってどうする

第一わしはしゃべらん！

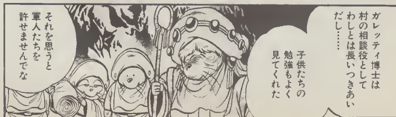
つまらん脅しはやめて…

そいつはどうかなゾルバ卿

しまった……!!

オルフの谷


ここなら
まず見つからん
じゃろうて
すみませんなあ
長老さん
お世話になって
いやなに


ガレッティ博士は
村の相談役として
わしとは長いつきあい
だし……
子供たちの
勉強もよく
見てくれた
それを思うと
軍人たちを
許せませんでな

まったく
同感ですな！

それにしても
残った
モーナたちは
遅いの――

おっ
今到着の
ようじゃ

おーい

あら
なんじゃ
ハッサンか
どーじゃった
王宮のほうは

だめだ
だめだ

議員も
閣僚も
軍を恐れて
逃げちまった
人っ子一人
いやせん！

やっぱりな

まあわしらも
同じような
立場じゃが……

とにかく
今はわしらで
なんとか
しよう！

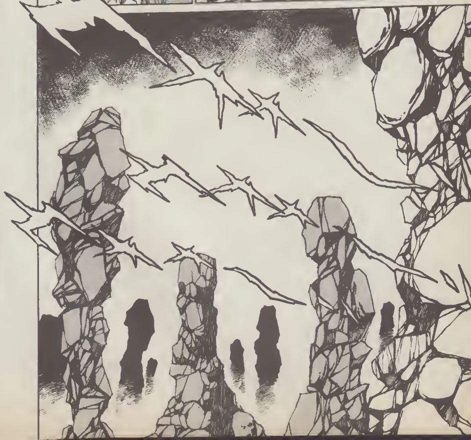
スラフレーゼ一の
頭脳がそろって
おるんじゃ
何かひとつぐらい
名案が……

わいの！
わいの！

おい……

なんじゃ
この音は？

ヘリか車輌の音か？
いや全然違うぞ！
何か泣いてるみたいじゃ……
!!



これはいったい……

岩が光っている……

これはもしや……

モーナたちの身になにかあったんじゃ……

どうしてわかる!?

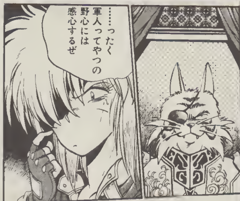
以前ガレッティから聞いたことがある……

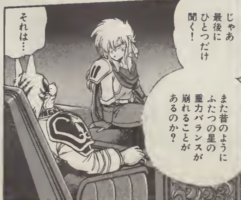
あの岩柱は壊された巨人の残骸だとな
だが死んではおらん体を失くしただけじゃ

その巨人達が泣いているとすれば……

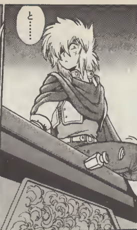
最後のヤッピ族……最後の巨人が……




……ったく
軍人ってやつの
野心には
感心するぜ

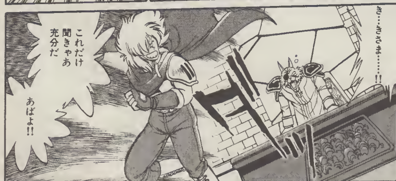

じゃあ
最後に
ひとつだけ
聞く！
また昔のように
ふたつの星の
重力バランスが
崩れることが
あるのか？
それは…




と……


パリン


はっ!!

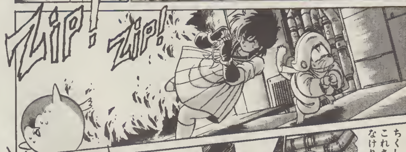

き…きさま……!!
これだけ聞きゃあ充分だ
あばよ!!


司令室ゾルバだ!今賊が逃げた
追って殺せ!!

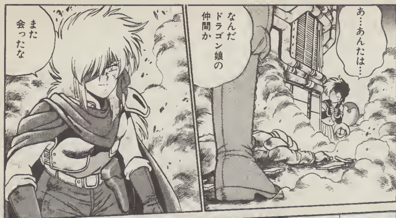

くそう……!


わしは何をしゃべったのだ……!!

ああ!!

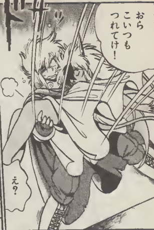





あ…あんたは…
なんだ ドラゴン娘の 仲間か
また 会ったな

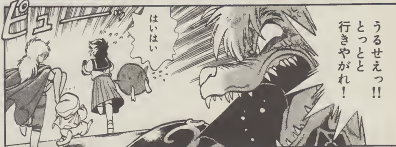

話は 後だ ついてこいよ
!!



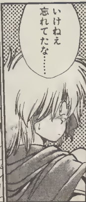

ドサッ
おら
こいつも
つれてけ！
え？

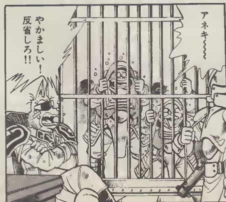

この奥の
駐機場に
俺の車がある
茶色の
でかい奴だ
そいつを
使え！


あ…
あんただれ？
どーして
あたしたちを…


うるせえっ!!
とっとと
行きやがれ！
はいはい
ピュー

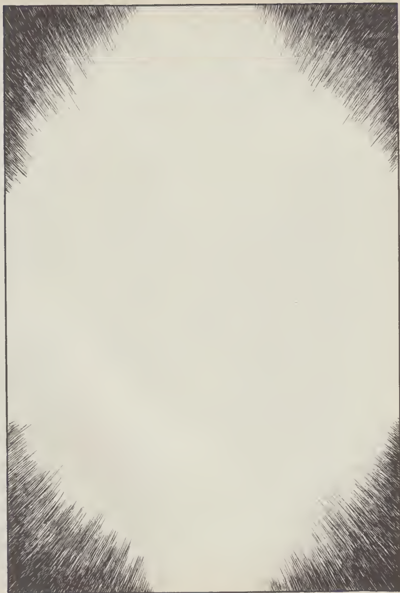

！

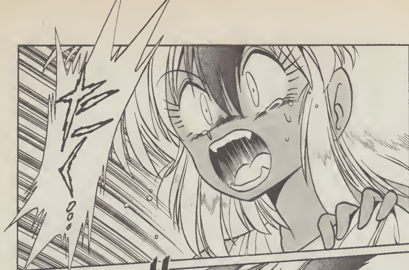

いけねえ
忘れてたな……

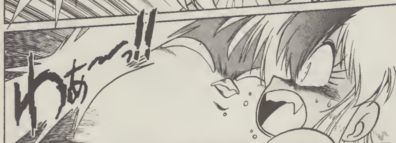

アネキ〜〜
やかましい！
反省しろ!!

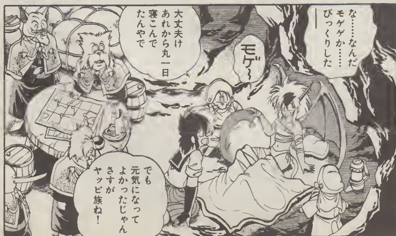
ACT15
ブラック・ドラゴン

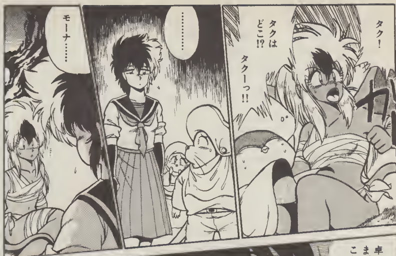
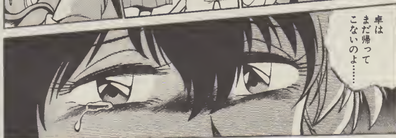
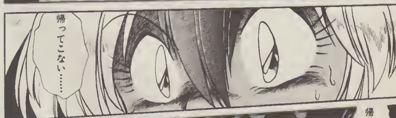





だ～く……

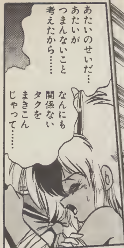

わあ～っ!!


な……なんだ
モゲゲか……
びっくりした
モゲ～
大丈夫け
あれから丸一日
寝こんで
たんやで
でも
元気になって
よかったじゃん
さすが
ヤッピ族ね!


タク!
ガバッ
タクは
どこ!?
タクーっ!!
…………
モーナ……

卓は
まだ帰って
こないのよ……

帰ってこない……

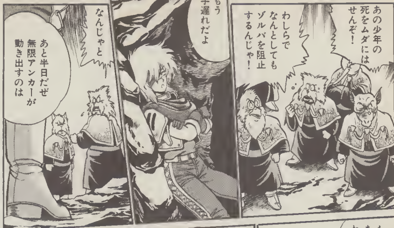
帰ってこないって…
どーいうこと?

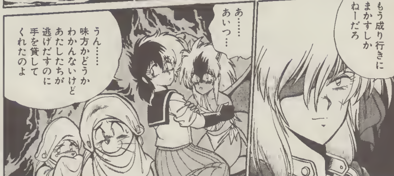

ねえ
どーいうことさ!!
タクは……
どーなっちゃったのさ!!

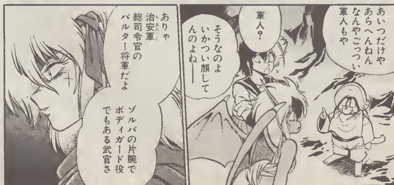

あたいのせいだ…
あたいが
つまんないこと
考えたから……
なんにも
関係ない
タクを
まきこん
じゃって……

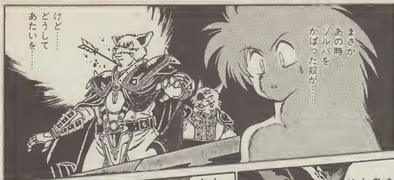

モーナ……
タクは
あんたを助けた
かっただけだよ
あいつ
先走りやすいから
何も考えずに
行動しちゃったのさ
自業自得
だよ
あのバカ……

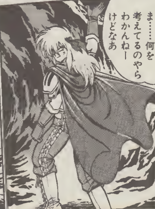

あんなでっかい
巨人に乗っててもさ……
バカは
バカだよ……
ヒック


あの少年の死をムダにはせんぞ！
わしらでなんとしてもゾルバを阻止するんじゃ！
もう手遅れだよ
なんじゃと
あと半日だぜ無限アンカーが動き出すのは


もう成り行きにまかすしかねーだろ
あ……あいつ…
うん……味方かどうかわかんないけどあたしたちが逃げだすのに手を貸してくれたのよ


あいつだけやあらへんねんなんやごっつい軍人もや
軍人？
そうなのよいかつい顔してんのよね――
ありゃ治安軍総司令官のバルター将軍だよ
ゾルバの片腕でボディガード役でもある武官さ

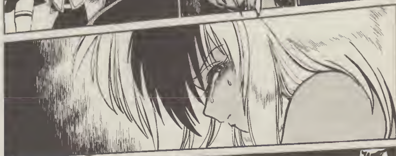

まさか
あの時
ゾルバを
かばった奴が……
けど……
どうして
あたいを……


ま……何を
考えてるのやら
わかんねー
けどなあ


バーラムとか
いったな
おぬし何者じゃ!
何を
たくらんでおる!
わからんのは
おまえさんじゃ!
さあ
あっしゃ
ただの
遊び人で……


なにいーーっ!!
ハハハ
御老体も
達者でな


御老体
じゃとーっ!!
この若さ
あふれるわしに
なんちゅー
ことを!!
しかし……
奴のいうとおり……
もう手遅れだ…
どーにもならん…

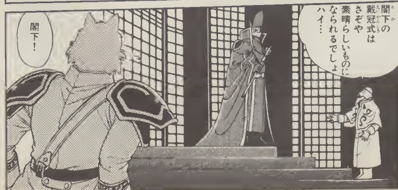

くそう――っ!!
このまま
ゾルバの
思いどおりには
させんぞ!!
させて
たまるか!!


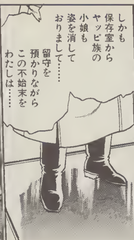
あと
半日……

補助機
稼動率
百パーセント
圧力に変化なし
カプリコンとの
連動状態も
よし……
すべて予定どおり!

威厳……
権力……
そして大いなる力……！



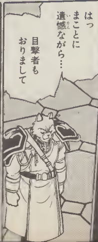



どうした
ゲイル
顔色が
悪いな
申しわけ
ありません
脱走した囚人
賊ともに
いまだに網に
かかりません……

しかも
保存室から
ヤッピ族の
小娘も
姿を消して
おりまして……
留守を
預かりながら
この不始末を
わたしは……

なに？
モーナとかいう
小娘もか？

どーいう
ことだ！

保存室は
省内には
いくつも
ある
賊があらかじめ
知っていたとは
考えられん！
はあ……

内部の者か？

はっ
まことに
遺憾ながら…
目撃者も
おりまして

いえ!!
だれだ!!

は……
はあ……

エルビン・フォン・バルター将軍であります！

奴は同志だった……

しかし閣下まだ決まったわけでは……

ガッ

奴の功績なしでこのわしの政権獲得はなかった……

ゲイル！

はっ……!!

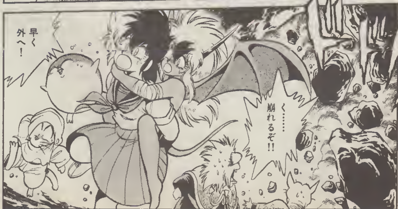
バルターのことを心配するより自分のことを考えろ！

わしは実力のない者をいつまでもそばにはおかん!!

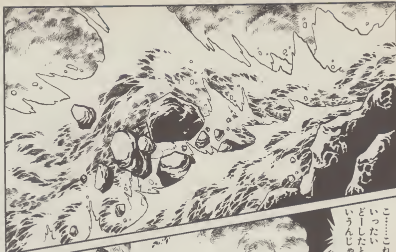
ははっ……わかっております……!!


わっ
なんや！
なんや！
ゴゴゴゴゴ
ちょっと
これ地震なの!?

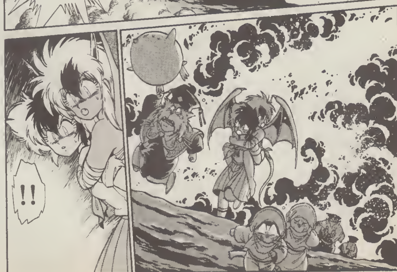

あ……あたし
地震は
やなのよねえ
こんなところで
地震が
起きるわけがない！
プレートは
安定してる
はずじゃぞ
どーだか……
我が星の
地質学は
遅れておるから
のう
なんじゃとーっ!!
空ばっか
ながめてる
おまえと
一緒にするな!!


く……
崩れるぞ!!
早く
外へ！


ベキベキベキ



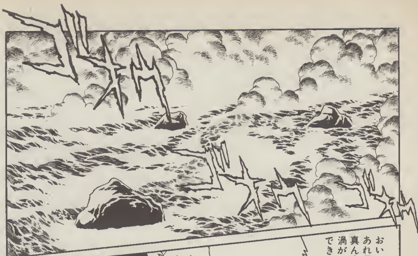

こ……これは
いったい
どーしたと
いうんじゃ!?
とにかく
高台まで
逃げろ！


!!

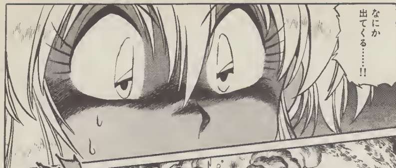
これ……みんな溶岩なの?

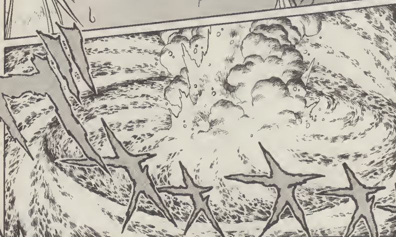
ゴーラムの岩柱も何もかもみんな溶けて沈んじゃった……

そんなバカな! オルフの谷に火山帯があるはずが……




おいっ あれ見てみい! 真ん中に 渦が できとるで!!
大きく なってくる


なにか
出てくる……!!

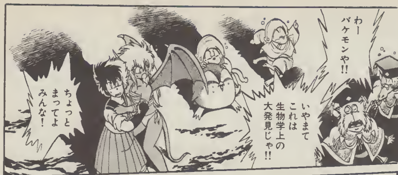




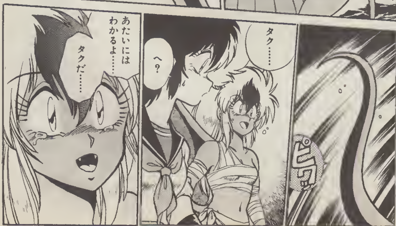


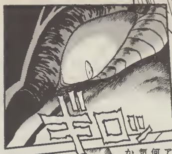





わー
バケモンや!!
いやまて
これは
生物学上の
大発見じゃ!!
ちょっと
まってよ
みんな!


これは
黒魔竜……
だ!
黒魔竜?
地下に潜み
ヤッピ族の
能力の源に
なってると
いわれた
巨大なドラゴン
……
でも
本当に
いるとは
思っても
みなかった……


ピクッ
タク……
へ?
あたいには
わかるよ……
タクだ……

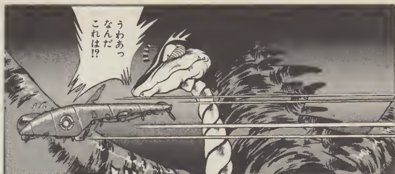

ギロッ

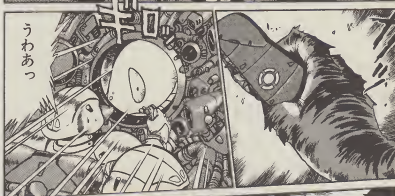

タクよ
あれ!!
アホ
何いってんねん
気でもふれたん
かいな!
モーナ
あぶないわよ!!

タクだー


ありゃ
モーナ!?
どてて!!

活動はだいぶ収まってきたようだ
溶岩の噴出量は推定八十万ダロン
なんだって急にこんなことに……
司令部へこちら観測機08現状報告を……
注意!!前方溶岩の中に動標的!!
でかいぞ!!
強力な生体反応!!

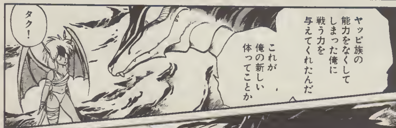

うわあっ
なんだ
これは!?


ギロッ
ガッ
うわあっ


ザブッ

じゃあ
ここにあった
ゴーラムたちの岩柱が
守護神の黒魔竜を
生み出したんだ……

ゴーラムの体が
黒魔竜の体に……
タクが
黒魔竜の心に……





ゾルバの罠にかかって俺とゴーラムが木っ端微塵になった時……
俺の頭ん中に入ってきたのがいてさ……
無念そうにいうんだ
これから先は俺たちに託すってね……
自分たちが作り出す体の心となってヤッピ族の使命を果たせって……
ねーちゃん俺たちはヤッピ族だったんだぜ
ぽけ〜っ
ねーちゃん!!
えっ あっ…
うん! うん!
モーナが前いってたようにヤッピ族は二つの星に別れて無限アンカーを守ってたんだ
そしてモーナを手助けするためにこの世界に引きずりこまれたんだよきっと

けどなんであたしたちみたいな子供が……

おそらく最もヤッピの血が濃いんじゃろ

ゴーラムにとってもっとも純血に近いヤッピ族がほしかったんじゃろ

なにせカプリコンのヤッピ族はほとんど能力を失っておるからのう

だから俺こーやって黒魔竜とひとつになれたんだぜ

不公平よ!!

へっ

だってそーじゃない!タクばっかりであたいはそのままじゃない!

おもしろくないじゃん!!

んなこといったって……

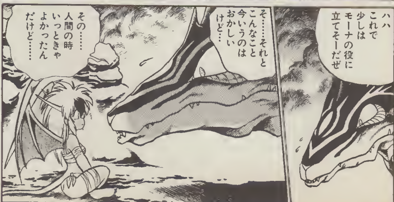
俺は体失くしたんだぞ!

そやそやそれにねーちゃんにはバカ力があるやないか

だれがバカ力じゃ!!


ザッ
タクーーっ!!
無理だよ
まだ
ひどいケガじゃ
ないか
あたたたた

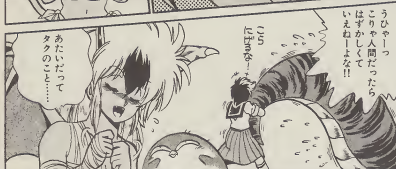

でも……
よかった……
タクが
無事で……
モーナ……
すりすり

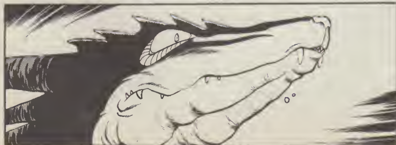

ハハ
これで
少しは
モーナの役に
立てそーだぜ
そ……それと
こんなこと
今いうのは
おかしい
けど……
その……
人間の時
いっときゃ
よかったん
だけど……

俺……モーナが好きだ！

どひゃーっ!!

にたーーっ





あれは……王都のほうだぜ

すごいエネルギーだ……

チェッ

無限アンカーが作動し始めたんじゃ……

そろそろ夜が明ける……ウォーミングアップじゃな

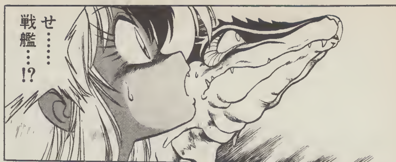
もう手遅れだ……

一度動き出したら途中で止めることは不可能だ……

ちくしょう!! まだ時間はある!!

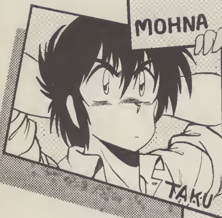
モーナ!! ねーちゃん!!

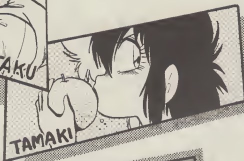

ゴオゥ
ゴオゥ
ゴオゥ


せ……
戦艦……!?

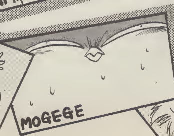
ACT16
運命の日













ゴオウ
ゴオウ
ゴオウ

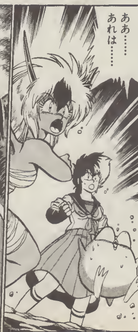
あれ……通りすぎてくぞ

気づかんわけじゃ連中……金属反応を探すことだけに熱中しとるようじゃ

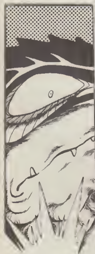
じゃあさっきタクがおとした飛行機を?

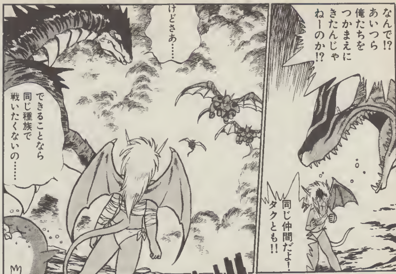
あれの母艦だったんだな……

ザァァァァァッ

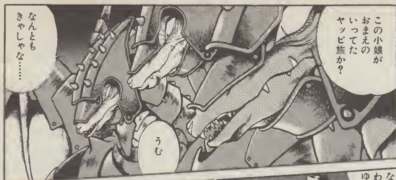

ああ……
あれは……




まって
タク!!



こやつらが ゾルバの 造ったっていう ヤッピ族か!?
あんなに ひどい目に あってるのに……
うん! まちがいない!
ほう……





信じられんなこれが同じヤッピの戦士とは……
見ろよこの細い手足
ち……ちょっと……いたいって

おいっ!!

おまえら
いいかげんに
しないと怒るぞ!!

おいっ
やめとけ!
ケガをしてる
んだぞ!

スマン……
つい珍しくて

もしかして
あん時
あたいと
戦った……

そうだ
よく
わかったな

あんた……

なにい——っ!!
じゃあ
モーナを!!

タク!

わーったよ

われわれは まもなく 出撃する

えっ？

その前に もう一度 おまえに会って 聞きたいことが あった

まあ 何かしら

さあ？

なに？

おまえは この前 軍に強い 敵意を 持っていた

だが その軍の 一人である 俺との 戦いは 避けた……

いったい おまえは 敵なのか？ 味方なのか？

敵か味方かなんておかしいじゃない同じ種族で仲間じゃないの

だがそのゾルバ卿は俺たちの主人だぞ

あたいが憎いのはゾルバとその取りまきさ

なんでやねんそれがおかしいねん！

そーよなんでゾルバの命令なんてきくのさ!!

えーかゾルバはうちのじいちゃんを殺したんやで!!

人殺しや!!

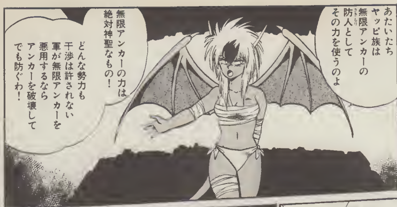
あいつは邪魔者は殺しカプリコンを侵略しようとしている独裁者よ!!

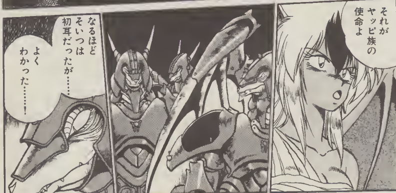
ゾルバ卿はわれわれの親も同然

われわれにこのすばらしい力を与えてくれた

ヤッピ族はけっして邪悪な者の手先としてはこの力を使わないわ！

！


あたいたち
ヤッピ族は
無限アンカーの
防人として
その力を使うのよ
無限アンカーの力は
絶対神聖なもの！
どんな勢力も
干渉は許されない
軍が無限アンカーを
悪用するなら
アンカーを破壊して
でも防ぐわ！


それが
ヤッピ族の
使命よ
なるほど
そいつは
初耳だったが……
よく
わかった……！

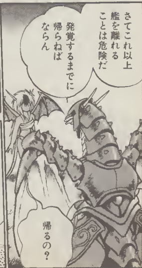

フン
クス……
ところでさ
あんたたち
名前は？
あたい
モーナ
あの大っきいのが
タクっていうの
名前？
そんなもの
知らん
番号だけだ
われわれは皆同じ
顔と能力を
持っている
名など不要だ！

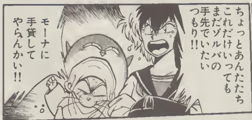

じゃあ
あたいが
つけてあげる
えーっと
トールに
ロキに
ジウ！
どーかな？

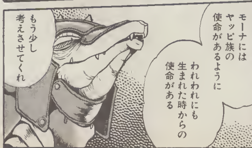

トール？
ロキ？
ジウ？

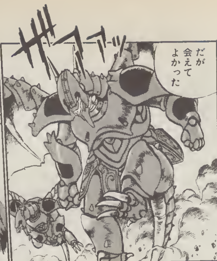

へへへ
気にいらな
かったらいいよ
ここの
花の名前から
とったから


いいや……
そんなことは
ない……
いいものを
もらった

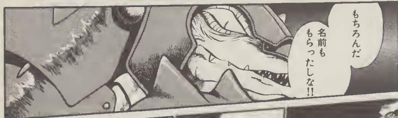

さてこれ以上
艦を離れる
ことは危険だ
発覚するまでに
帰らねば
ならん
帰るの？


ちょっとあんたたち
これだけいっても
まだゾルバの
手先でいたい
つもり!!
モーナに
手貸して
やらんかい!!


モーナには
ヤッピ族の
使命があるように
われわれにも
生まれた時からの
使命がある
もう少し
考えさせてくれ


ザザアアッ
だが
会えて
よかった

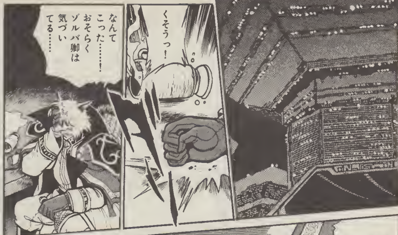

あたいたちは
仲間なのよ！
敵じゃないん
だからね――っ!!
忘れないでよ
――っ!!


もちろんだ
名前も
もらったしな!!

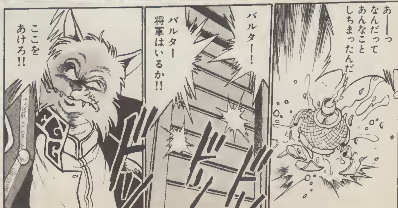



つらいなあ
モーナ……
あんなに仲間が
いるのに……
ううん
いいの


みんな
ゾルバのロボット
かなって
思ってたけど……
そうじゃ
なかったみたい
だもん……

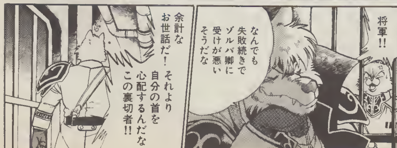


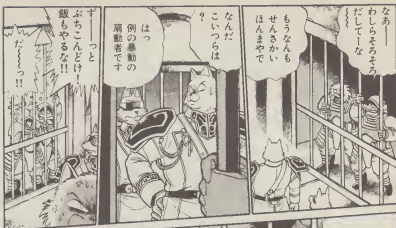
俺は頭がどうかしちまってたんだ……!!
なにをとち狂ってあいつを助けにゃならんのだ……！
あの小娘を殺す理由はあっても助けるいわれはねえ……！



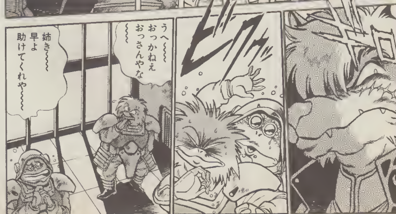

ガシャン


残念ですな
将軍……
ゲイルか……
第一参謀次官の
おまえが
出向くとは……
点数稼ぎか？
赫々たる
戦功の持ち主を
拘束せねば
ならないとは


将軍!!
なんでも
失敗続きで
ゾルバ卿に
受けが悪い
そうだな
余計な
お世話だ！ それより
自分の首を
心配するんだな
この裏切者!!


なあ——
わしらそろそろ
だしてーな
〜〜〜
もうなんも
せんさかい
ほんまやで
なんだ
こいつらは
?
はっ
例の暴動の
扇動者です
ず———っと
ぶちこんどけ!
飯もやるな!!
だ〜〜〜っ!!


なんやねん
あいつ
性格悪いなあ
根が相当
暗いで〜〜〜
ほんまや
なあ
あんたも
そう思わへん?


ビクッ
うへ〜〜〜
おっかねえ
おっさんやな
〜〜〜
姉き〜〜〜
早よ
助けてくれや〜〜〜

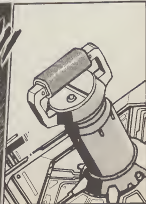


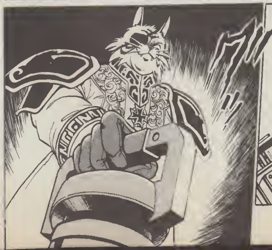

ザン!!

ゾルバ閣下！
お待ちしておりました

うむ……
ごくろう

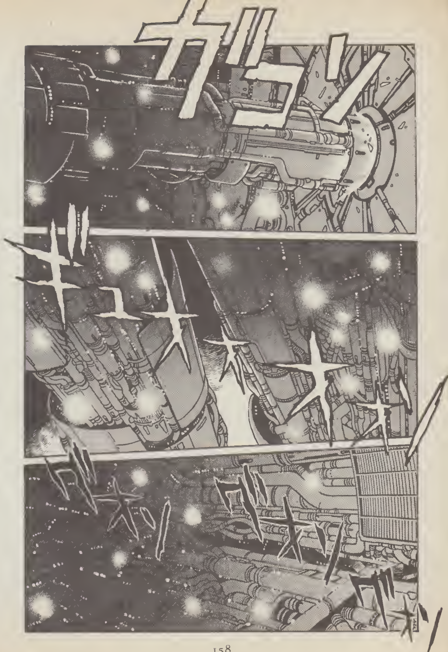
いよいよ
この手で
カプリコンを
手に入れる時が
きたか……！

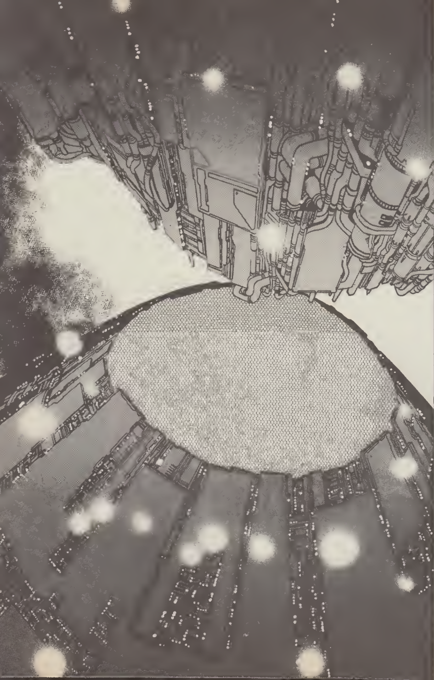







P!


ガコン

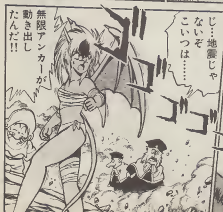





ドズズズズズ
きゃーっ
地震!?
大きいぞ!!

ドドド
おおっ!!

な……な……
なんじゃらほい

!!

ゴゴゴゴゴ
じ…地震じゃ
ないぞ
こいつは……
無限アンカーが
動き出し
たんだ!!


ザシュ

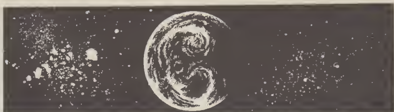

ゴゴゴゴゴゴゴ



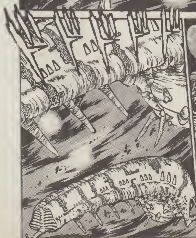
ズゴォォォ


閣下！無限アンカーの共鳴エネルギーはシミュレーション時をはるかにオーバーしています!!
ディフレクターでは吸収しきれません！地上に相当な被害が……!!
かまわん！


われわれが待ち望んだ新天地が手に入るのだ!!
何物にも替えがたい新天地が!!




始まったか……
これ以上ここにいるのは危険だな

全艦 針路2-4-0 アップトリム15° 離脱する！
はっ!!


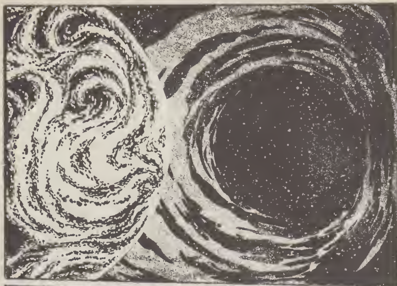
大佐!!
敵大型艦が離れて行きます!
急速上昇中!

まにあわなかったか……






ゴオオオオオオオ



こちらの指向波が
カプリコンを
完全に捕捉！

カプリコン軌道上に
*ウォームホール
発生……
どんどん大きく
なっていきます

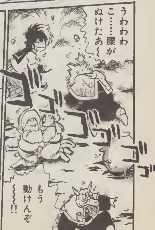
震動が
大きくなって
きました……！

アンカーの
まわりの
温度も
上昇中!!

カプリコン
ウォーム
ホールに
入ります!!

くっくっくっ
早くこい
カプリコン
……！

*まあ　空間の歪みでできる穴と思ってくださいな

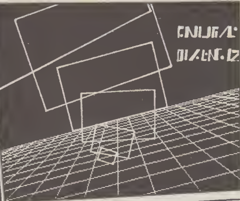

うわわわ
こ……腰が
ぬけたあ〜
ゴゴゴゴ
もう
動けんぞ
〜〜〜!!

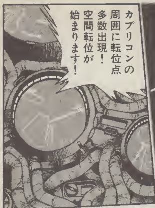

すげえ
速さで雲が
流れてくる
……!


ちくしょう









カプリコンの周囲に転位点多数出現！空間転位が始まります！



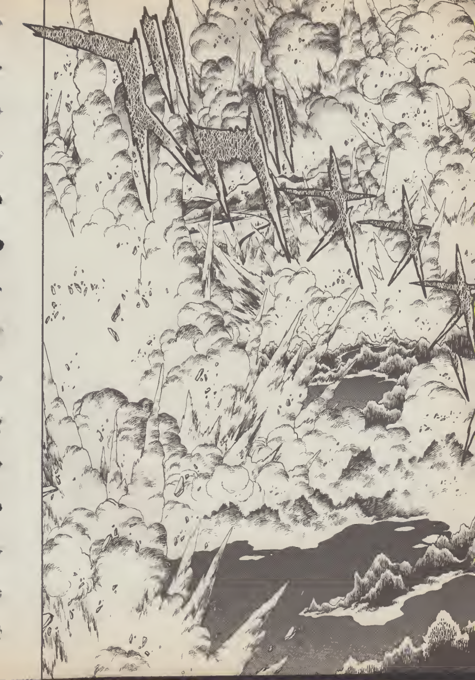
座標078の歪みを修正……！転位終了まで48057！
微弱な宇宙震が起こっていますが支障なしすべて順調！
くっくっく

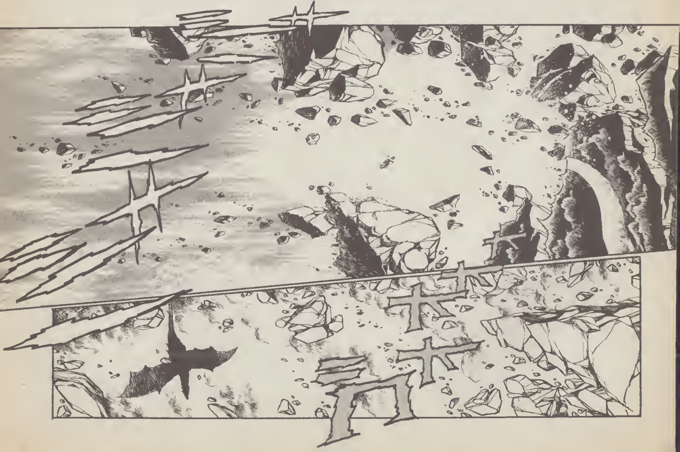


おろかなカプリコンの猿どもよ！おまえたちの想像のつかないことが起きているのだ
もはやカプリコンはわしのもの
は——っはははは


次元転位……
ハルマゲドン……
なんと呼ぼうが
かまわないが……
この時、地球は
二度目の次元の壁を
通過し
近くて遠かった
兄弟星と出会う……


ACT17
D-DAY




ゴォォォ

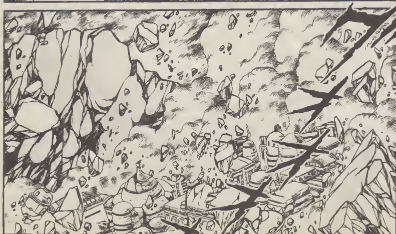

なんてこった
ムチャクチャ
じゃ!!
これも
無限アンカーの
仕業け？

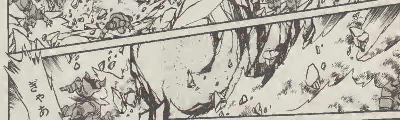

異次元の星を
引っ張りこむ
エネルギーじゃ…
こっちもただで
すむわけが
ないじゃ
ろうて…
これじゃ
地球のほうも
……


タク 見て！
都のほうを!!

都がもえてる!!

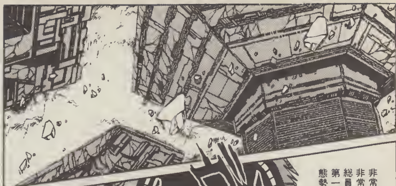




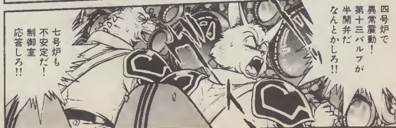

ぎゃあ






非常警戒！
非常警戒！
総員
第一級非常
態勢!!
圧力極大！
制御不能!!


第二第三
エネルギー
バルブを
閉鎖しろ!!
制御弁が
ふっとぶ!!
バルブ閉鎖
だけでは
エネルギーの
暴走を
止められ
ません!!
このままじゃ
動力炉が融解
するぞ!!
非常弁開放！
エネルギー放出!!


四号炉で
異常震動！
第十三バルブが
半開弁だ
なんとかしろ!!
七号炉も
不安定だ！
制御室
応答しろ!!

ズ

第二十三区のエネルギー伝導管は破裂したぞ!!

隔壁を閉鎖し注水しろ!ここは放棄する!!

閣下!これ以上は危険です!この巨大なエネルギーは我々の手に負えません!!

続けろ!

しかし…

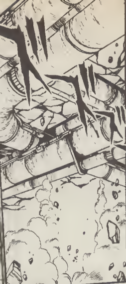
十年越しの計画はこの日のためにあったのだぞ!

たとえどんな犠牲を払っても…

今をのがしてはならん…!

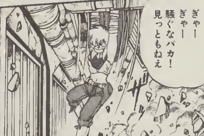
今をのがせば…

カプリコンは二度と手の届かぬ所に行ってしまうのだ…

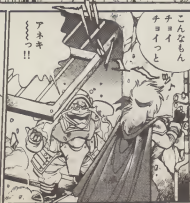


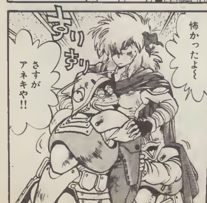

こら——っ
看守——!!
ここ開けんかい!
死んでまうやないか——っ!
こんな所で死にとうないわい!!

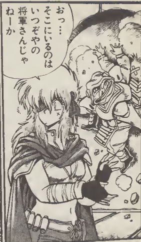

こ…この震動は…?
まさか無限アンカーか!?


ぎゃーぎゃー騒ぐなバカ!
見っともねえ


あ——っ
アネキーっ!!

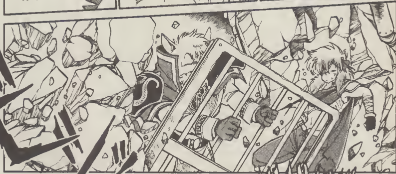

こんなもんチョイチョイっと
アネキ〜〜っ!!


すりすり
怖かったよ〜
さすがアネキや!!


おっ…
そこにいるのは
いつぞやの
将軍さんじゃ
ねーか

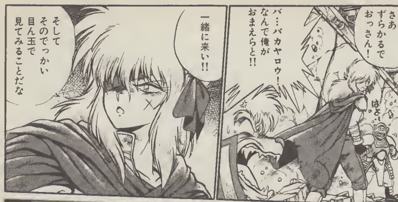

どーした
そのざまは
俺たちに
手貸した
からか？
やかましい！
きさまらには
関係ないわ!!
盗賊めが!!


なんなら
出してやるぜ
このあいだの
礼も
あるしな
いらん
お世話だ
失せろ!!

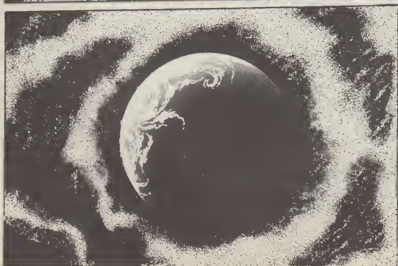


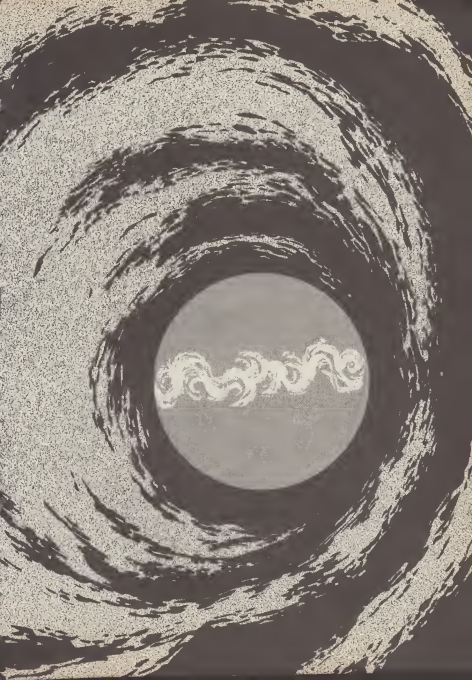

やべえっ！
崩れ
だしたぞ！
どわーっ!!

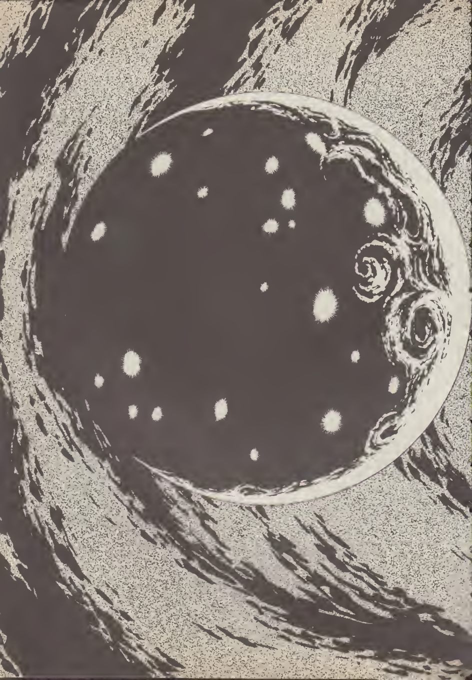

ふう
あぶな
かったぜ
脱走
おめでと
さん
……


さあ
ずらかるで
おっさん！
バ…バカヤロウ！
なんで俺が
おまえらと!!
一緒に来い!!
そして
そのでっかい
目ん玉で
見てみることだな


てめえら
軍人の
しでかした
ことをよ！











大佐が自殺しただと？拳銃で？

そうか…彼は無限アンカー破壊の判断の誤りを悔いていたからな

こちらもひどい状態だ ドグレンコシェルターに収容したのは四割弱だよ

もちろん大統領夫妻は御無事だ

政府要員とともにこの戦略司令部に退避しておられる

これからが勝負だぞ！

連中が無限アンカーを使ったのは明らかに侵略目的のためだ

それだけは阻止せねばなるまい！

ヤッピ族として…いや地球人の誇りにかけても!!

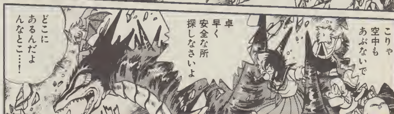
今こそ全世界の政界・軍・財界のトップにもぐりこんだヤッピ族の血の団結を見せる時だ

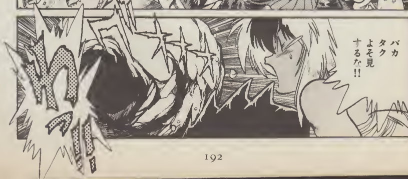

はっ
ご心配なく
極東司令部
として
万全の
策を尽くします!


諸君!
徹底抗戦だぞ!!
しかし
戦う手段は!!
地下
八百メートルの
ここも
危険です
なにを
いうか!!
ただちに臨戦
態勢
レベル4に
入れ!


レベル4
核の使用
ですか…!!
シベリアの
戦略ミサイル
基地は
この程度の地震
では
破壊されん!
ただちに
惑星間弾道弾
ボスコニアンの
カウントダウンに
入る!!

うひゃ〜〜〜っ!!





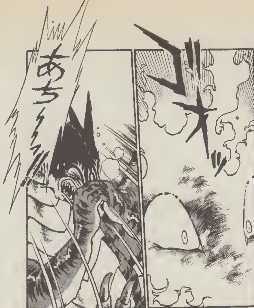
ゴ!!

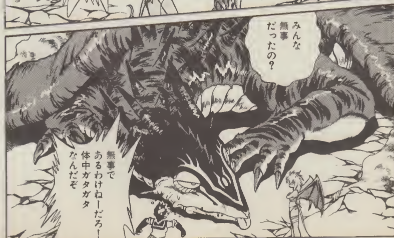
へなへなへな〜っ

わーっ!

タクー!!
しっかりしてえ〜っ!!

?


水かけたろうか
だめよ そんなことじゃ起きないよ
ゴォ
あちちち!!

あら… モーナ…
いつまで寝てんだよ!! もうっ!!

みんな無事だったの?
無事であるわけねーだろ! 体中ガタガタなんだぞ


ずいぶん静かになったな…終わったのかな…
うん…あれ見てタク…
あれって…
ゾルバの野望そのものよ…








カプリコンだ


カプリコンが
あんな近くに…


来るべき時が
きてしまった
ようじゃな…
ゾルバの奴
まんまと
カプリコンを
自分の手の届く
ところに
もってきおった…


やったぞ!!
わたしは
手に入れた
ついに…
手が届くようで
届かなかった
わたしの
念願が
かなったのだ
閣下!!

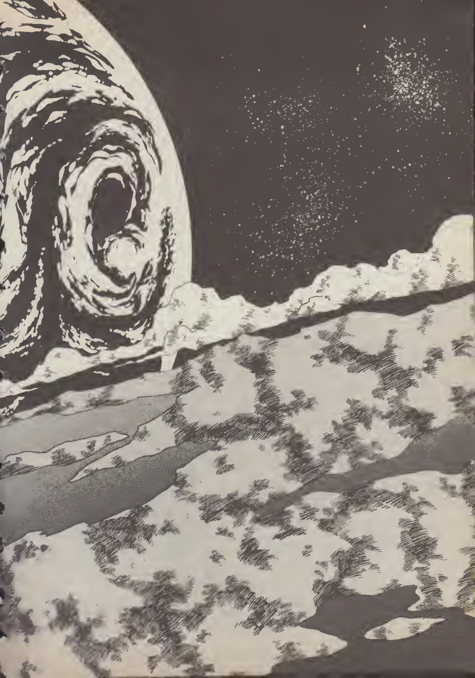

おめでとう
ございます
大成功です!!
長らく
待った
かいが
ありましたな!!
おい
だれか
シャンペンを
持ってこい!!


諸君
祝杯を
あげたい
ところだが
最後の
仕上げが
残っておる
これより
予定どおり
カプリコン侵攻を
開始する!!
第一梯団出撃!!


グワオォォ

ゴォオォオオ

ゴオウ
ゴオウ
ゴオウ
ゴオウ
ゴオウ



星と星が
出会えば次は
必ず、
人と人
文明と文明が
出会う…

そしてそれは
かなりの確率で
一方の破滅を意味する

ボスコニアン
発射準備
最終チェック
完了！

航法機構
異常なし
安全装置
解除!!

目標
デルタ-1

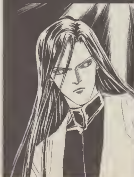
◆カプリコン③おわり◆

＊「カプリコン③」は月刊ウィンクス'89年1月号より'89年6月号まで連載されたものです。

- [ ] 沢田翔◉オラトリオ・スケープ①～③
- [ ] 田中雅人◉キラー・ゴースト 黄昏通信 / パーマネント・バケーション
- [ ] 柴田昌弘◉フェザータッチ・オペレーション①② / 冥界人形レヴィ・ドール
- [ ] 寿限無◉山中寮E館215号 / ANIMA ①② / マニー
- [ ] 真鍋譲治◉カプリコン①～⑤ / ドーラ
- [ ] 水縞とおる◉CRUSADER①
- [ ] 篠原正美◉嵐陵王①天使の眠る星 / 嵐陵王②③還らずの月〈上・下〉 / 嵐陵王④鮮血空間
- [ ] 三原千恵利◉炎様怒るI・II
- [ ] 葉月しのぶ◉幻羽〈げんよう〉 / バシリスク
- [ ] 神崎将臣◉KAGEROU〈カゲロウ〉
- [ ] 麻々原絵里依◉極東キッドI
- [ ] 押上美猫◉伝説の国王をさがせ!! / ドラゴン騎士団①②
- [ ] 
- [ ] 
- [ ] 
- [ ] 

コミックス 〔定価490円(税込)〕 COMICS

道原かつみ
●
帝王の庭
ムーン・ファンタジー①②
ドリーム・プレイング・ゲーム
グリーン・パラダイス



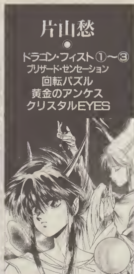


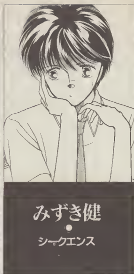
仲たまき
●
パームシリーズ
①～⑭
2821コカコーラ

CLAMP
●
聖伝〈リグ・ヴェーダ〉
①～⑤









WINGS ……(B6判)…… ウィングス

□ あずみ椋◉ティース……！ 天涯宮殿	□ 篠原烏童◉ファサード①
□ 楠桂◉週番規則厳守せよ	□ 木戸恵◉ヴァガボンド・フィッシュ①
□ 神坂智子◉T・Eロレンス①〜⑦	□ かえんぐるま◉鬼ヶ島
□ 内田美奈子◉赤々丸①〜⑤	□ こなみ詔子◉コインロッカーのネジ。①
□ 外園昌也◉エンヴリオン①〜③	□ 
□ 夏門潤◉KENIYA草と惑星①〜④ PANGAEA〈パンゲア〉	□ 
□ ふくやまけいこ◉サイゴーさんの幸せ①②	□ 
□ 北原文野◉夢の果て①〜⑥ きのういたペン	□ 